*Published since 1971*

# 日工販NEWS

February
2026

工作機械業界への知見を広げ、日工販会員の絆を深める広報誌

キューケンホフ公園（オランダ）

日本工作機械販売協会
JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS' ASSOCIATION

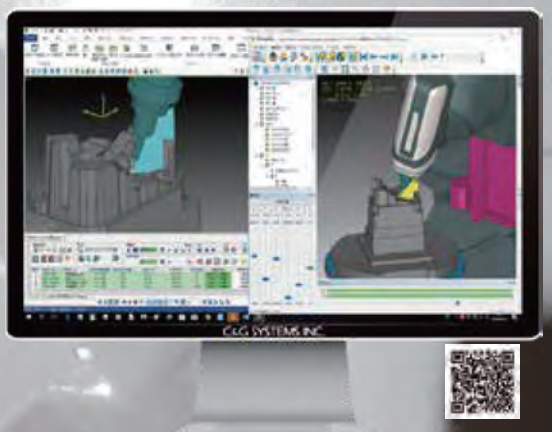
CREATIVE & GLOBAL & SOLUTION

# 生産性の限界に挑戦する

We challenge the limit of the productivity

## EXCESS-HYBRID Ⅱ

ハイブリッド金型設計製造システム



## CAM-TOOL

5 軸マシニングセンタ対応金型加工システム

## AIQ

金型・部品製造用 工程管理システム

株式会社C&Gシステムズ

日工販NEWS

February
2026

「キューケンホフ公園」
オランダ

SE 合格者に
ご回覧をお願いします。

## CONTENTS

2 巻頭言
「AI・ロボット時代の人材育成と産業発展」
日本工作機械販売協会 理事　**近藤　敏之**

4 特集　2026 年 日工販賀詞交歓会

12 特集　わが国工作機械産業の需給実績と見通し

17 分かりやすい話題の技術
「重厚長大産業向けの省エネ対応門型加工機
門型 5 面マシニングセンタ HF-MⅡシリーズ」
新日本工機株式会社　**溝渕　崇人**

21 私の好きなお店
「居酒屋【ひさご】」　株式会社旭商工社　**折田　将彦**

22 分かりやすい話題の技術
「加工工程 3DPDF で変わる加工確認
― Speedy mill Next の取り組み ―」
キャムタス株式会社　**相馬　功侑**

24 私の健康法
株式会社 MST コーポレーション　**朱 立峰**

25 リレー随筆
キタムラ機械株式会社　**林　隆朗**

26 海外だより
「日本の産業発展への貢献に向けて」
キタムラ機械株式会社　**石浦　浩二**

28 感動したスポーツの名場面
「奇跡のバックホーム――横田慎太郎選手が遺したもの」
釜屋株式会社　**堀野　雅之**

29 自社紹介
大石機械株式会社　**大石　直良**

30 SE 教育
日工販 SE 合格者 第 255 回発表

30 お知らせ
日工販 NEWS 表紙写真の公募について

31 統計資料
「工作機械・FA 流通動態調査 1」「工作機械・FA 流通動態調査 2」
「マシニングセンタ動向 & NC 施盤動向」
「工作機械業種別受注額（2025 年 12 月）」
「2025 年小型工作機械・受注高統計表」

# 巻頭言

Introduction

## AI・ロボット時代の人材育成と産業発展

昨年12月に開催された国際ロボット展では、従来主流だった産業ロボットや協働ロボットに加え、多くのブースでAI技術や人型ロボットが前面に打ち出され、展示内容に大きな変化が見られました。

現在、多くの産業分野や企業で労働力不足が深刻化しており、それを補完する自動化設備への引き合いや相談が増加しています。日本の労働人口は、1995年の8,700万人から2025年には7,300万人（▲1,400万人）に減少し、2055年には5,000万人（現在比▲2,300万人）まで縮小すると予測されています（総務省データ）。この構造的課題は多くの産業で、今後の根本的な変革を迫る事案です。

これまでのロボットは、人の教示した動作を繰り返すティーチングプレイバック方式が中心でした。しかし、AI技術の進展により、危険回避や良否判別、動く対象物への追従などを学習機能で実現し、ティーチングレスで画像・センサー・AIを組み合わせて、人に近い作業を遂行できる段階に到達しつつあります。今後、高度な能力と知能を備えた人型ロボットが普及すれば、単純作業の多くがロボットに置き換わり、これまでブルーカラーの領域で進んできた自動化が、ホワイトカラーの職域にまで及んでくることが予想されます。

米国では、生成AIの急速な進化を背景に、テック企業がレイオフや新入社員採用の抑制を示す方針を取ったとの報道もあります。単純業務がAIやロボットに代替されることで、若手社員が経験を積む機会が減少し、日本のモノづくりを支えてきた「失敗と成功の蓄積による人材育成」が困難になる懸念もあります。現場経験を持たない社員がAIの指示に依存することで、企業の持続的成長が可能かどうかは、多くの企業にとって今後の重要な課題となるでしょう。

今後もロボットはあくまで人の行動や判断を補完する存在であり、適切に活用することが重要と考えます。現時点では、人の柔軟性がロボットの能力より上回る内容も多く、ロボット導入コストの方が高くつくケースが多く見受けられます。しかし、AIや人型ロボットの技術進化と量産化が進むことで、ロボットの採用がより合理的となる局面が訪れる可能性もあります。その場合、人型ロボットが人間と共存し、権利を主張する社会の到来も考えられます。

60年以上前に放送された『鉄腕アトム』では、ロボットが人を助け、人間と共存する未来が描かれる一方、物語の後半ではロボットが人権を持ち、人間と対立するようになり、ロボットの行動を規制する法律が制定される展開内容と記憶します。かつてのフィクションが、今後私たちが迎える可能性のある未来社会をここまで想像し、マンガにした手塚治虫氏の先見性には、改めて驚かされます。

世界的には人口増加が続く一方、日本では少子化により労働人口が減少し、所得機会が縮小すれば消費が増加せず、日本の経済は停滞を招く恐れがあります。また、仮に沢山のロボットやAIが人の職を奪い、社会で活躍しても消費者にはなり得ないため、企業が優れた製品を生産しても需要が増加しない可能性があります。その結果、多くの産業と企業が成長機会を失い、豊かな社会の実現が困難になることが懸念されます。

歴史を振り返ると、18世紀中ごろに始まった産業革命は、人口増加を背景に大量生産技術が発展し、大量消費が産業の成長を支えてきました。さらに、付加価値の高い商品や新技術が新たな需要を創出し、生活水準の向上に寄与してきました。戦後の多くの日本企業が大量に売れる製品を量産し事業を拡大してきましたが、今まさにビジネスの大きな変革期を迎えていると感じます。「自分の目で確かめ」「自分の耳で聴き」「自分の肌で感じ」「自分で考える」機会をつくることで、人材が育ち、次の企業成長の鍵を見つけ、新たなビジネスの創出につながると考えます。

工作機械販売という仕事が、人と人との心が通じ合う信頼関係の中でお客様から期待され、多くの人材が集まり、産業発展の一翼を担う魅力ある職業となることを願っています。

日工販　理事　近藤 敏之
（山下機械株式会社 代表取締役社長）

# 2026年
# 日工販 賀詞交歓会

**日時：2026年1月8日（木） 12：30 ～ 14：00**
**場所：第一ホテル東京 5階「ラ・ローズ」**

日工販の2026年賀詞交歓会が、第一ホテル東京５階「ラ・ローズ」において1月8日（木）12時30分より盛大に開催されました。

当日は、関係官庁、関係団体、報道関係から多数ご来駕いただき、130社（団体）292名（正会員102名、賛助会員メーカー 141名、賛助会員リース13名、来賓他36名）と大盛況となりました。

懇親パーティは中島専務理事の司会進行の下、髙田会長の主催者挨拶に引き続き、経済産業省 製造産業局 産業機械課長　須賀 千鶴様、ならびに（一社）日本工作機械工業会 会長　坂元 繁友様よりそれぞれご来賓を代表してご挨拶を賜わりました。続いて日本工作機械輸入協会 会長　金子 一彦様の乾杯ご発声の後、お時間の許す限り賀詞交歓をお楽しみいただきました。

宴もたけなわ、提坂副会長の一丁締めにより中締めとなり散会いたしました。

年始ご多用の中、ご来駕賜わりました経済産業省 須賀課長を始めとするご来賓の方々、会員各位にあらためて御礼申し上げますとともに、本年のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。　（事務局）

役員によるお出迎え
（左から髙田会長・提坂副会長・植田副会長・中島専務理事）

## 主催者挨拶　日本工作機械販売協会 会長　髙田 研至（㈱井高　取締役社長）

皆様新年あけましておめでとうございます。

本日はお忙しい中、日本工作機械販売協会の賀詞交歓会に経済産業省から産業機械課長の須賀様、生産一係長の宇佐美様、また（一社）日本工作機械工業会からは会長の坂元様を始め、多くの皆様においでいただきまして誠にありがとうございます。

また、日頃から日工販の事業活動に対しまして、メーカー・リース各賛助会員の皆様には多大なるご協力をいただいておりますことに、改めて御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界情勢は依然として不透明な状況が続きました。国や地域によって考え方や優先順位が異なり、これまで当たり前とされていた前提が少しずつ揺らいできた一年だったと思っています。こうした変化は政治や外交だけではなく、モノづくりの現場や市場の動きにも確実に影響を与え始めています。

では私たちが直面している変化とはどのようなことなのでしょうか。私は2025年を通じて、変化が本質的に３つの大きな方向に現れたと感じています。

一つ目は、人が足りないことを前提に現場をどう成り立たせるかということです。人手不足はもはや一時的な問題ではありません。採用が難しい、育たない、引継ぎや時間がない・・・こうした状況の中、現場を維持し、品質を守り、納期を守るためにやり方そのものを見直す動きが確実に広がっています。

二つ目は、生産性や効率を我慢ではなくしくみで高める方法です。昨年10月に開催されましたメカトロテック2025では自動化・効率化・知能化・デジタル化といった技術が、もはや将来像ではなく現実的な選択肢として示されていました。工程集約や５軸加工機、複合加工機など、また切削工具や計測機器、周辺装置に至るまで現場の負担を減らしながら生産性と品質を高める提案が数多く見られたのが印象的でした。

三つ目は、投資の考え方が質から量へ変わりつつあることです。自動車業界ではBEV一辺倒だった流れが見直されHEVやPHEVへの投資が再び活発になっています。また航空･宇宙･エネルギー･防衛・造船といった分野では引き続き安定した需要が見込まれ、2026年中盤には半導体関係装置の回復が期待されています。単に設備を増やすだけではなく、どの分野にどのタイミングでどの設備を導入するか、そうした判断がこれまで以上に大切になってくると思っています。

一方で見逃すことができない課題もあります。人手不足に加えて、中小企業の廃業・・・日本の製造業を支えてきた基盤そのものが少しずつ変わりつつあります。また工作機械のヴィンテージ問題として10年以上前の機械が多数を占めている現状では、競争力を考えると避けては通れないテーマであります。だからこそ、2026年は何かを一気に変えるというよりも、足下を見直し、

次の一手を考える年になるのではないでしょうか。

人が足りない時代にどう現場を回すか、限られた投資の中でどう強化するか、そして将来に向けて何を残していくか、そうした問にそれぞれの立場で向き合うことが必要な１年になると思います。

最後になりますが、2026年は内需の回復が期待される１年であります。日工会の2026年の予想を１兆6,000億円と仮定しまして、内需につきましては、経済産業省のバックアップもいただける中、賛助会員の皆様とも協力し合いながら、昨年比20% UP の5, 300億円を目指してまいりたいと思っています。

不透明な時代だからこそ、現場に近いところ、一つ一つの選択を積み重ねていくことが、結果として大きな前進に繋がるのではないでしょうか。

結びになりますが、本年が皆様にとって実りある１年になりますように心よりお祈り申し上げます。

本日は誠にありがとうございます。

## 来賓ご挨拶　経済産業省 製造産業局 産業機械課長　須賀 千鶴 様

皆様新年あけましておめでとうございます。

本日は日本工作機械販売協会の賀詞交歓会にお招きをいただきまして誠にありがとうございます。

世界では去年も米中に散々振り回され、今年はようやく落ち着いた年明けを迎えられると思っていましたが、ベネズエラの話もあり、さらに昨日は中国の輸出管理がまた強化されるということで、表に出ている情報だけで今年も非常に波乱がありそうだという感触がありますが、政府としましては表に現れている情報を鵜呑みにするというより、しっかりと相手の真意も見極めながら冷静にかつ毅然として対応をしていくという意思統一をしていますので、今年も様々あろうかと思いますが官民で連携して荒波を乗り切っていければと思っています。

国内に目を向けますと、少子高齢化、人口減少の影響でますます人手不足が深刻になっていますし、このトレンドは変わらないと思われます。加えて、世界的な資源価格などの変動によって物価高も進んでいます。政府としてはまずは国民の皆様が直面している物価高への対応、これは年末にいくつかの措置を打ちまして、ガソリン・電気・ガスなど生活に不可欠なものの値段については一定の措置を行ったところでございますが、さらに次は賃上げ、そしてそれによる日本経済全体の底上げをしていく段階に今年は進んでいきたいと思っています。

高市内閣の成長戦略の肝は、危機管理投資、成長投資ということで、戦略分野をいくつか決めまして、その中には AI・半導体・量子・バイオ・航空・宇宙・エネルギー・GX などが入っていますが、こういったそれぞれの戦略分野に対して大胆な設備投資、そして研究開発促進などの総合的な支援措置を講じていくことにしていまして、年度内にもそれぞれの分野について取組みの方針が出されることになっていくと思います。

設備投資というのが、まさに皆様に担っていただいている部分でございまして、これも昨年米国トランプ政権が OneBigBeautiful 法案という法案を出し設備投資促進にかなり踏みだしていますので、日本もそれに遜色ないように昨年の税制改正の内容でもわかりますように即時償却の制度も含めかなり大胆にしっかりと設備をリプレースしていただく、ヴィンテージ問題についても制度的に手当てをしていくことにしています。

またこの後、省エネ補助金も複合加工機を導入しますと対象になるように要件見直しなども進めておりまして、こういった施策を組み合わせて是非今年こそ時代に相応しい機械がモノづくりの現場で稼働するという状態にもっていけるように、政府としても出来ることは何でもしたいと思っていますので、皆様にもご協力をいただいてその先導役を担っていただきたいと思う次第です。

特にビッグデータ、AI の時代でもありますので、旧い機械というのが喉から手が出る程重要なデータを持っているという面もございます。ですので、単に旧い機械を“捨てる”というのではなく、現在大事に使っている機械でどういったデータが取れているのか、ご協力いただけるのであれば AI に記録・学習させていく、その上で最新鋭の機械に入れ替えていくという取組みをしていただければと思っています。これこそが世界中の AI 企業が欲しい、リアルなフィジカル AI に繋がるデータでもあり、また日本がその宝庫でもあるという認識ですので、皆様と協力をしてやっていければと考えているところです。

そういう意味で、工作機械は製造業を支える非常に重要な製品でありますし、米国政府がものづくり回帰をすることによって、ようやく世界中に再認識をされている状況だと感じております。人手不足によって製造を自動化する必要性が今後加速度的に高まってきますので、その役割はますます大きくなる一方でございます。

皆様日頃から製造現場の細かなニーズを丁寧に聞き取っていただき、ユーザーの要望に合わせた工作機械をご提案していただいていることと存じます。今後も製造現場の課題や実状を踏まえた工作機械が多く導入され、我が国の製造業の競争力の維持・強化につながることに心より期待をしております。

高市総理は「働いて働いて働いて・・・」という方ですが、その部下である赤澤大臣は「今年は馬車馬のように働く」と宣言をされていまして、その部下となる我々は馬車馬よりも早く走らねばいけない１年になりそうだと気を引き締めております。

ここにお集まりの日本工作機械販売協会の皆さまのますますのご活躍を心から祈念いたしまして私からのご挨拶とさせていただきます。

## 来賓ご挨拶　（一社）日本工作機械工業会 会長　坂元 繁友 様（芝浦機械㈱ 代表取締役社長）

新年にあたり工作機械メーカーを代表してご挨拶申し上げます。

昭和100年にあたる昨年は、米国が相互関税、通商拡大法232条など通商政策を次々と打ち出してその対応に追われた他、ウクライナや中東紛争など、依然として地政学リスクが顕在化した1年でございました。

このような環境の中、工作機械受注は内外の好・不調が分れまして、外需につきましては10月に単月で過去最高を記録するなど好調に推移いたしましたが、内需は回復が若干遅れまして前年比横ばいにとどまると見られております。この結果、昨年の工作機械受注は目標といたしました1兆6千億円には若干届かないというふうに見込まれております。

しかしながらこの受注結果は決して小さい数字ではなく、充分に健闘しているものと思います。受注獲得に際しましては、日本工作機械販売協会の皆様から多大なるご支援を賜りました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

次に本年の市況見通しでございますが、昨年に引き続き、世界情勢は非常に不透明不確実な状況が継続するものと見られます。ご存じのように、トランプ政権は全く見通しが立たない、それが我々の事業環境に大きな影響を及ぼすと考えられます。またユーザーにおきましては先ほどお話がございましたように人手不足、人材の高齢化、DX・GXへの対応などが深刻化しております。これを解決に導くための最新鋭の工作機械へのニーズが本年の受注を力強く下支えするものと確信しております。いかなる状況にあろうとも、我々はやるべきことをしっかりとやっていくということが重要であろうと感じております。

本年は、国内最大の工作機械見本市であるJIMTOF2026が10月26日（月）～31日（土）まで6日間に亘って東京ビッグサイトで開催されます。

我々メーカー各社はユーザーが直面する諸課題を解決すべく、自動化・工程集約・省エネ・DXを始めとする最新の工作機械技術を結集し、具体的なソリューションを提案させていただきます。

日本工作機械販売協会の皆様におかれましては、本展示会を貴重な商機として最大限にご活用いただき、一人でも多くのご来場者を賜りますように格段のご協力をお願い申し上げます。

結びとなりますが、本年も製造と販売が一体となってユーザーの生産性向上に取り組んでまいりたいと存じます。本年が皆様にとってさらなる飛躍の年になりますように祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

本年も宜しくお願いいたします。

## 乾杯ご挨拶とご発声　日本工作機械輸入協会 会長　金子 一彦 様（三宝精機工業㈱ 代表取締役）

皆様あけましておめでとうございます。

本日は日本工作機械販売協会の賀詞交歓会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

さて、2025年を振り返りますと、我々輸入協会のメンバーにとっても円安が響き非常に苦しい1年でした。

しかしながら日工販の皆様がお客様と丁寧な会話を以って従来の関係を守り続けていただいたことが、私ども会員の販売促進に大変な貢献となりました。ありがとうございました。

改めて、今年も引き続き重要なビジネスパートナーとして協力関係を築いていただければと考えています。宜しくお願い申し上げます。

それでは乾杯の発声に移りたいと思います。

日本工作機械販売協会のご発展とご臨席の皆様のご健勝を祈念し、勢いよく大地を駆け巡る馬のような年になりますように・・・乾杯！

乾杯！

## 中締め挨拶　日本工作機械販売協会 副会長　提坂 英希（三菱商事テクノス㈱ 代表取締役社長）

本日は年始早々お忙しい中お集りいただきましてありがとうございました。

私は昨年６月に日工販副会長を拝命いたしまして、日工販の賀詞交歓会への出席は今回初めてとなるのですが、これだけ多くの皆様にお集まりいただけるということで、改めて業界の広さと深さを実感しているところでございます。

私自身、三菱商事テクノス㈱の社長に就任してまだ１年は経っていないのですが、昨年を振り返りますとあっと言う間の１年だったと感じています。髙田会長他ご挨拶されたお話にもございましたように、様々なことが起きた１年で、設備投資関係も非常に厳しかったと思っています。ただ、10月以降、名古屋で開催されたMECTの展示会もそうでしたし、高市さんが総理になられて矢継ぎ早にいろいろと戦略を出されたこともあるのですが、少し明るい兆しが出てきたのではないかと感じています。

一方で、人手不足の問題はこれから先も続くと思いますし、その他引き続き難しい環境がございます。年明け、海外ではベネズエラの侵攻や中国のレアアースの対日輸出規制など不透明不確実な状況の中、今日ここにお集まりの皆様、とりわけメーカーの方々も多数お越し頂きまして、我々販売側と一層連携を深くしながらやっていくことが、2026年の設備投資を盛り上げていく機会になるのではないかと思っています。

今日のように皆様と様々なお話ができる機会があることは、この業界がもつメリットなのではないかとも思っていますので、皆様と連携深く、また切磋琢磨しながら日本の製造業を支えていきたいと思っています。

それでは、本日ご臨席の皆様のますますのご健勝とご発展、そして日本の製造業のますますの成長を祈念いたしまして一丁締めで締めたいと存じます。

お出迎え

司会進行 中島専務理事

歓談の様子

歓談の様子

日工販関連団体である日本精密機械工業会の賀詞交歓会が
1月14日(水)に第一ホテル東京にて開催。
当交歓会で乾杯発声を前に挨拶する髙田会長。

# わが国工作機械産業の需給実績と見通し

㈱ ニュースダイジェスト社主催「2026 FA 業界新年賀詞交歓会」が、去る1月9日（金）「名古屋観光ホテル」にて、FA 業界の経営者など755名の方々がご出席の中、開催されました。

主催者である同社代表取締役社長の八角秀氏のご挨拶および業界展望についてご講演があり、2026年の受注見通しとして、グローバルで保護主義や分断が進むほど設備需要は高まるとして、昨年に続き1兆7,000億円と発表がございました。また続けて、（一社）日本工作機械工業会会長の坂元繁友氏からも、今年後半に向けて回復の動きが鮮明になるとして、2026年受注見通しは1兆7,000億円との発表がございました。

ご講演に引き続き、第41回「ND マーケティング大賞」贈呈式が行われ、SMC ㈱ 代表取締役社長の髙田芳樹氏に贈呈された後、受賞講演がございました。

その後、「どうなる今後の FA 業界」と題した恒例の新春トップインタビューが八角社長の司会進行のもとに行われました。オークマ ㈱ 代表取締役社長の家城淳氏、㈱ 牧野フライス製作所 取締役社長の宮崎正太郎氏、またファナック ㈱ 代表取締役社長 CEO の山口賢治氏がご出席され、今年の業界見通しや重点施策などにつきご意見を交わしました。

※紙面の都合上内容については割愛します。
なお、概要は「月刊生産財マーケティング（2026 年 2 月号）」および同社ホームページ〔https://www.news-pub.co.jp/newyearceremony/report/〕に掲載されています。

当日は、夕刻より懇親パーティーが開催されました。

以下に ㈱ ニュースダイジェスト社のご厚意により、当日配付されました資料を転載致します。

本日は、ようこそお運びくださいました

2026 FA業界 新年賀詞交歓会
プログラム

2026年1月9日(金)　名古屋観光ホテル

**第１部**　3階　那古の間

14:00～14:20　**主催者挨拶・業界展望**　代表取締役社長　八角　秀
14:20～14:40　**受注見通し**　一般社団法人 日本工作機械工業会　会長　坂元 繁友 様
14:40～15:30　**第41回「NDマーケティング大賞」贈呈式・受賞者講演**
SMC株式会社　代表取締役社長　髙田 芳樹 様
15:30～15:50　**小憩**
15:50～17:00　**新春トップインタビュー「どうする今後のFA業界」**（司会　八角　秀）
オークマ株式会社　代表取締役社長　家城　淳 様
株式会社牧野フライス製作所　取締役社長　宮崎 正太郎 様
ファナック株式会社　代表取締役社長 兼 CEO　山口 賢治 様
17:00～17:30　**小憩**

**第２部**　3階　那古の間

17:30～19:00　**懇親パーティー**
**主催者挨拶**　取締役 相談役　樋口 八郎
**歴代NDマーケティング大賞受賞者紹介**
**乾　杯**　株式会社東京精密　代表取締役会長　吉田　均 様
**ご 歓 談**
**中 締 め**　愛知県機械工具商業協同組合　副理事長　髙田 研至 様

株式会社 ニュース ダイジェスト社

# わが国工作機械産業の需給実績と見通し

〔2026年1月9日発表・暦年ベース〕

*ニュースダイジェスト社「月刊生産財マーケティング」編集部*

## 1. 受　注

●昨2025年の受注総額は前年比6.4%増の1兆5800億円となったもよう。24年夏を底に、外需主導による回復基調が強まり、特に昨年後半は高水準で推移した。だが、内需は主力の自動車産業でパワートレインの方向性が固まり切らなかったことなどから設備投資需要が伸び悩み、全体的に厳しい環境となった。外需は米国トランプ政権の関税政策の影響が当初懸念されたものの、アジアや米国などが堅調で、3年ぶりに1兆1000億円台を突破したようだ。ただし、円安効果の影響が大きいことには注意が必要で、どの市場や業種を得意としているかにより、工作機械メーカー各社が抱く景況感や受注額には大きな乖離が見られる。

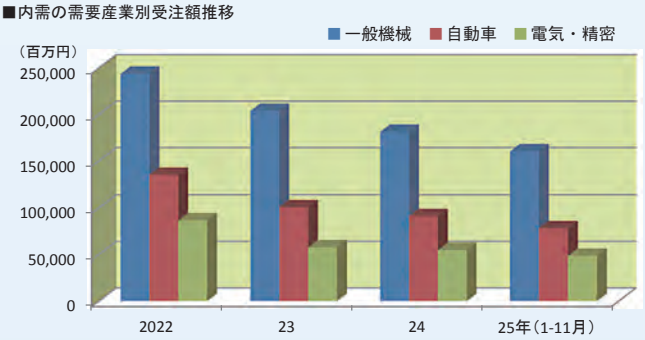
●26年の受注総額は同7.6%増の1兆7000億円と見通す。前年に引き続き、外需主導で受注が回復へと進むだろう。世界経済の減速感やトランプ政権の関税政策の影響、地政学的リスク、為替レートの動向には警戒が必要だが、航空宇宙や防衛、エネルギー、造船産業などの好調業種からの活発な需要は26年以降も継続すると予想される。また、半導体関連産業の回復がより鮮明になる他、低迷が続いた自動車産業でもエンジン関連の設備投資がいよいよ動き出すとみられる。この他、日本では高市政権が設備投資喚起策を打ち出すなど、26年は内外需ともに好要因が多く、市場環境が上向くと期待される。

〔日本工作機械工業会統計〕　（単位：百万円、カッコ内は前年比増減率%）

| ◆暦年 | 2022年 | | 2023年 | | 2024年 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 受注総額 | 1,759,601 | (+14.2) | 1,486,519 | (−15.5) | 1,485,109 | (−0.1) |
| 内　需 | 603,231 | (+18.2) | 476,821 | (−21.0) | 441,538 | (−7.4) |
| 外　需 | 1,156,370 | (+12.1) | 1,009,698 | (−12.7) | 1,043,571 | (+3.4) |

| ◆暦年 | 2025年 | | 2026年予想 |
|---|---|---|---|
| 受注総額 | 1,580,000 | (+6.4) | 1,700,000　(+7.6) |
| 内　需 | 440,000 | (−0.3) | 500,000　(+13.6) |
| 外　需 | 1,140,000 | (+9.2) | 1,200,000　(+5.3) |

■内需の需要産業別受注額推移




## 2. 生　産

●昨2025年の生産額は前年比6.5%増の9600億円となったもよう。外需を中心とした受注環境の回復と合わせ、生産額も生産台数も増加基調となった。門形マシニングセンタ(MC)などの大型機の需要が航空宇宙やエネルギー産業向けに堅調で、生産額の増加につながった。また、インドや東南アジアなどにおいては電子機器関連向けの小型MCの需要が活発で、台数ベースで大きくけん引した。

●26年の生産額は同4.2%増の1兆円と見通す。受注が底堅く推移するため、生産額も生産台数も緩やかに回復するだろう。前年に続いて門形MCなどの大型機が生産額、小型MCが生産台数をけん引すると予想される。また、自動車産業の設備投資需要が復調すれば、これまで低迷だったNC旋盤などの生産も活発化すると期待される。

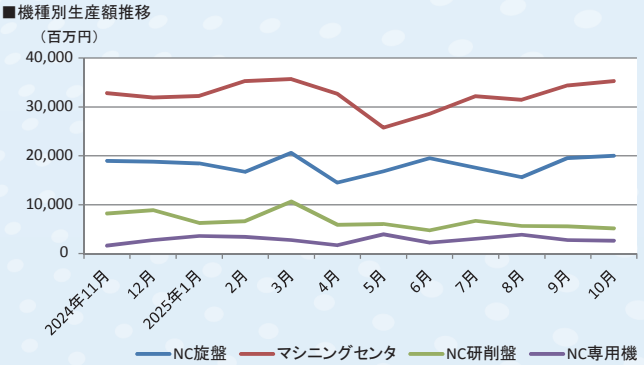
●近年、工作機械に搬送装置、検査機器、ソフトウエアなどを組み合わせた自動化システムの需要が高まり、1台当たりの単価が上昇している。しかし、工作機械メーカーにとっては売上高に占める購入品の比率が高まるため、手離れが悪くなるわりに利益率が低下しやすくなるとの問題もある。

〔経済産業省機械統計〕　（単位：百万円・台、カッコ内は前年比増減率%）

| ◆暦年 | 2022年 | | 2023年 | | 2024年 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 金　額 | 1,078,833 | (+20.5) | 1,051,791 | (−2.5) | 901,336 | (−14.3) |
| 台　数 | 70,004 | (+3.6) | 58,832 | (−16.0) | 50,449 | (−14.2) |
| ・単価 | 15.4 | (+16.7) | 17.9 | (+16.2) | 17.9 | (−0.0) |

| ◆暦年 | 2025年 | | 2026年予想 |
|---|---|---|---|
| 金　額 | 960,000 | (+6.5) | 1,000,000　(+4.2) |
| 台　数 | 54,000 | (+7.0) | 58,000　(+7.4) |
| ・単価 | 17.8 | (−0.6) | 17.2　(−3.4) |

■機種別生産額推移



## 3. 輸　出

●昨2025年の輸出額は前年比9.0%増の8300億円となったもよう。円安が追い風となり、海外市場を得意とする日系工作機械メーカーの受注環境は底堅かった。しかし、ドルベースで外需を見ると月平均にして6億3000万ドル程度で推移しており、必ずしも好況とは言い難い水準にある。米トランプ政権の関税政策が輸出環境に一時的に影響を及ぼしたものの、中国をはじめとした東アジア向けは増加した。米国も航空宇宙産業などの一部の好調業種がけん引し、比較的堅調であった。一方、欧州はドイツの景気減速が尾を引き、全体的に弱含みとなった。

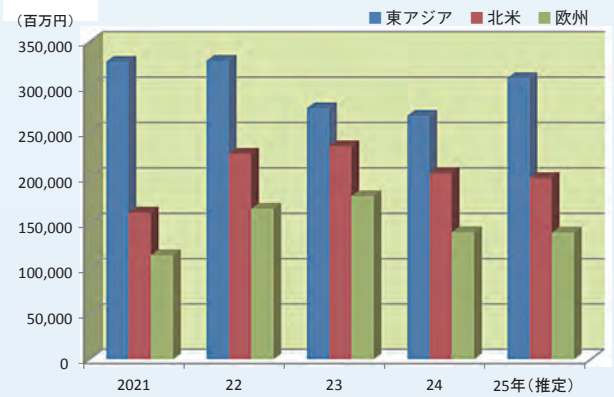
●26年の輸出額は同10.8%増の9200億円と見通す。26年の世界経済の成長率は前年を下回る見通しだが、円安傾向が継続するとみられるため日系工作機械メーカーにとっては有利な状況が続く。また、トランプ政権の関税政策が着地すれば、一時的に様子見されていた設備投資の案件が各市場で再び動き出すとの期待もある。中国は一定規模の底堅い需要が見込めるものの、政策に伴う設備投資の冷え込みが懸念される。米国は製造業の国内回帰が進む他、航空宇宙や防衛、エネルギー産業などからの活発な需要が持続しそうだ。欧州も航空宇宙産業を筆頭に回復傾向で推移するとみられる。

〔財務省貿易統計〕　（単位：百万円、カッコ内は前年比増減率%）

| ◆暦年 | 2022年 | | 2023年 | | 2024年 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 総金額 | 857,072 | (+20.3) | 830,389 | (−3.1) | 761,738 | (−8.3) |
| ・対東ｱｼﾞｱ | 329,068 | (+0.3) | 276,800 | (−15.9) | 268,471 | (−3.0) |
| ・対北米 | 226,672 | (+39.9) | 235,084 | (+3.7) | 205,220 | (−12.7) |
| ・対欧州 | 166,226 | (+44.6) | 179,972 | (+8.3) | 140,461 | (−22.0) |

| ◆暦年 | 2025年 | | 2026年予想 |
|---|---|---|---|
| 総金額 | **830,000** | **(+9.0)** | **920,000　(+10.8)** |
| ・対東ｱｼﾞｱ | 310,000 | (+15.5) | **340,000　(+9.7)** |
| ・対北米 | 200,000 | (−2.5) | **250,000　(+25.0)** |
| ・対欧州 | 140,000 | (−0.3) | **160,000　(+14.3)** |

■主な市場別輸出額の推移




## 4. 輸　入

●昨2025年の輸入額は前年比11.2%減の700億円となったもよう。国内市場が厳しい状況であったのに加え、円安で輸入機の価格競争力が相対的に低下したため、2年連続のマイナスとなった。

●輸入機市場の主力機種は旋盤やレーザ加工機、研削盤、マシニングセンタ(MC)など。主力機種はMCを除き、軒並み振るわなかった。為替の影響や自動車産業の不振が重なり、特に旋盤の輸入額が大きく落ち込んだ。

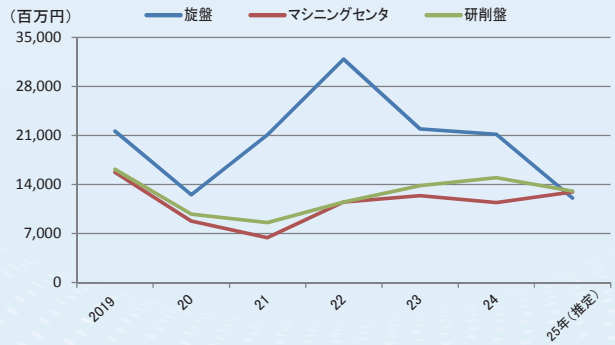
●26年の輸入額は同7.1%増の750億円と見通す。国内市場は回復に向かうものの、円安傾向は今後も継続するとみられるため、輸入機市場にとっては26年以降も不利な状況が続くだろう。内需の回復に伴って旋盤や研削盤などは前年を上回ると考えられる。

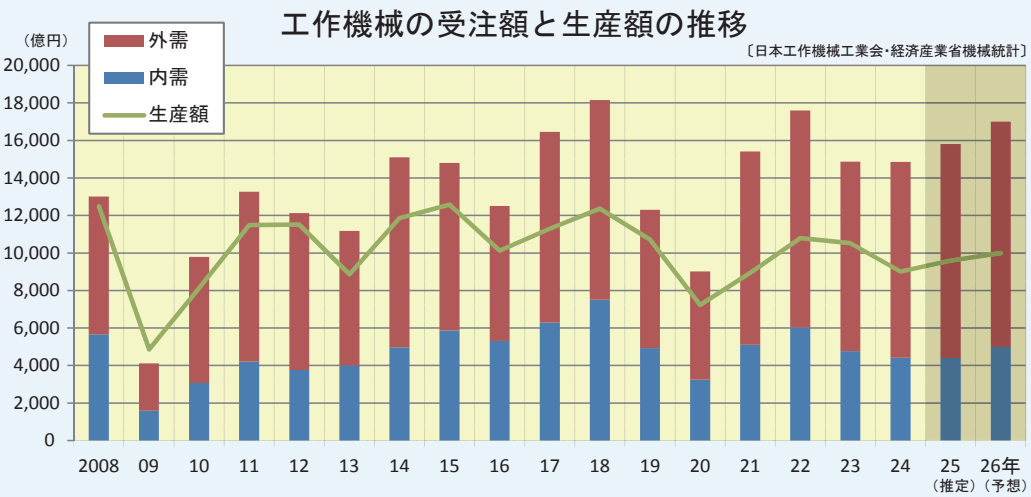
〔財務省貿易統計〕　（単位：百万円、カッコ内は前年比増減率%）

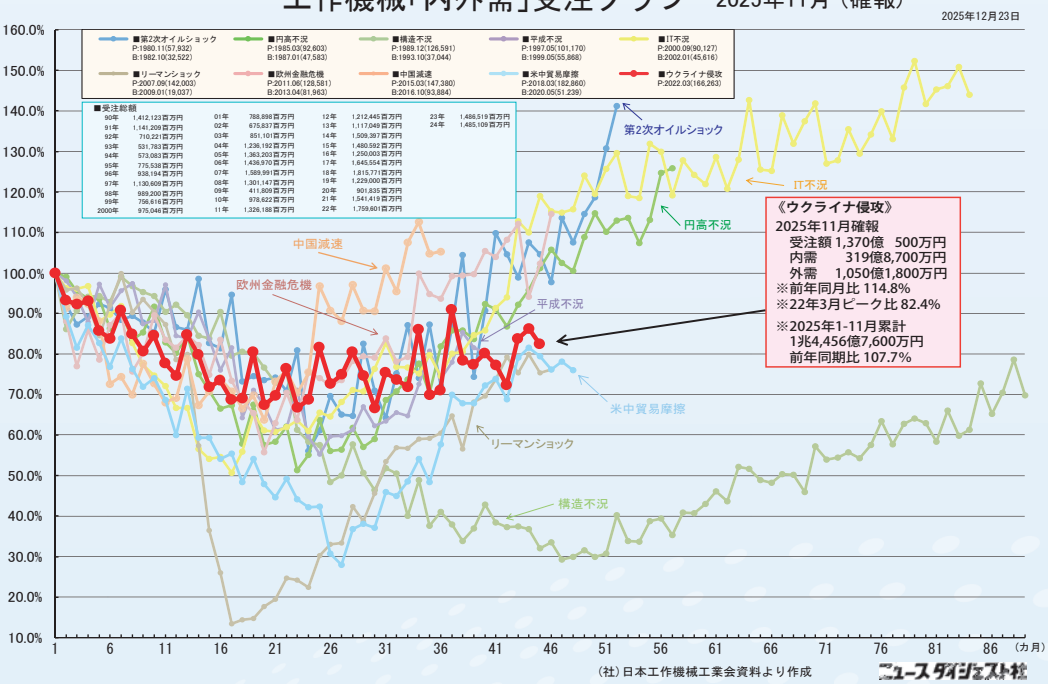
| ◆暦年 | 2022年 | | 2023年 | | 2024年 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 総金額 | 87,282 | (+20.1) | 88,258 | (+1.1) | 78,793 | (−10.7) |
| ・旋盤 | 31,900 | (+51.0) | 21,964 | (−31.1) | 21,186 | (−3.5) |
| ・MC | 11,508 | (+79.4) | 12,431 | (+8.0) | 11,416 | (−8.2) |
| ・研削盤 | 11,510 | (+34.4) | 13,835 | (+20.2) | 14,990 | (+8.3) |

| ◆暦年 | 2025年 | | 2026年予想 |
|---|---|---|---|
| 総金額 | **70,000** | **(−11.2)** | **75,000　(+7.1)** |
| ・旋盤 | 12,000 | (−43.4) | **13,000　(+8.3)** |
| ・MC | 13,000 | (+13.9) | **13,000　(+0.0)** |
| ・研削盤 | 13,000 | (−13.3) | **14,000　(+7.7)** |

■機種別輸入額推移



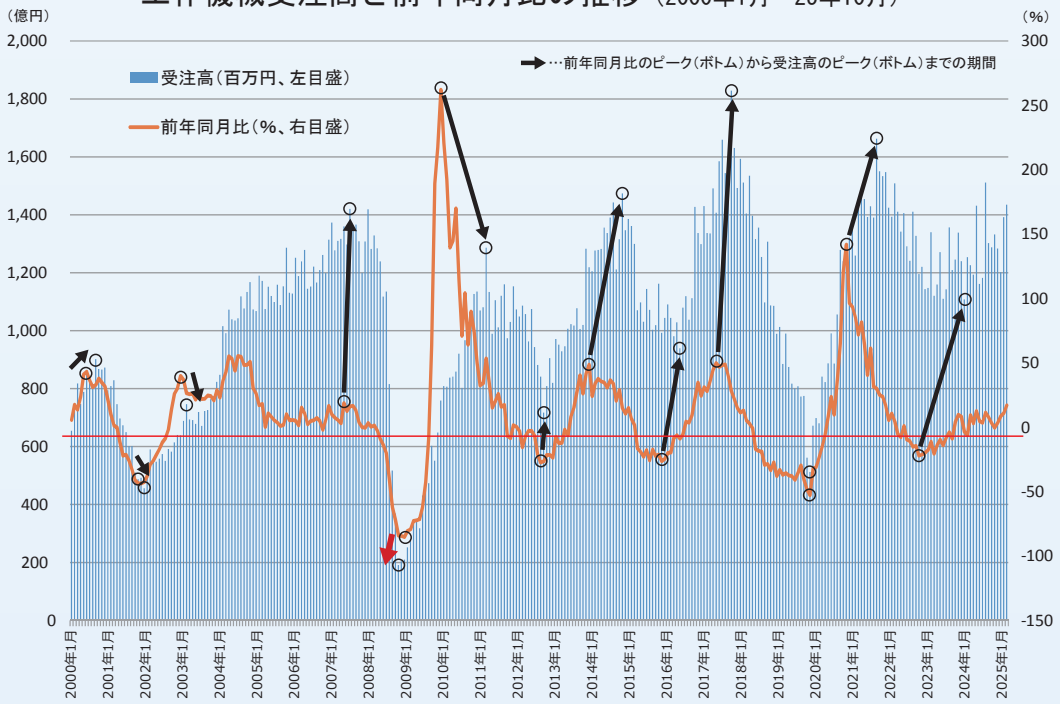



●グラフ(下)の見方：景気の頂点にあたる四半期の受注額を100の指数で表し、その後の景気後退と回復(谷と山)の期間と高低を示した

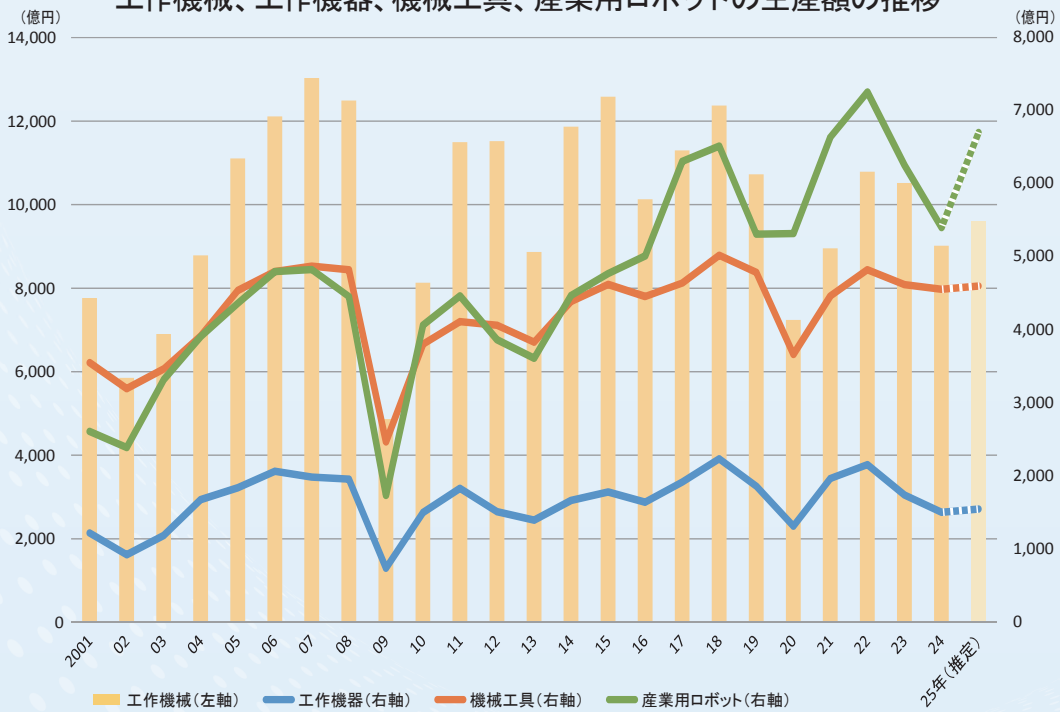
| 【グラフ説明】 | 頂点P | | 底点B | | 底点/頂点 | P⇒B期間 | B⇒次P期間 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①第2次オイルショック不況 | 80年11月 | (57,932) | 82年10月 | (32,522) | 56.1% | 24ヵ月間 | 18ヵ月間 |
| ②円高不況 | 85年03月 | (92,603) | 87年01月 | (47,583) | 51.4% | 21ヵ月間 | 22ヵ月間 |
| ③構造不況 | 89年12月 | (126,591) | 93年10月 | (37,044) | 29.3% | 42ヵ月間 | 43ヵ月間 |
| ④平成不況 | 97年05月 | (101,170) | 99年05月 | (55,868) | 52.2% | 23ヵ月間 | 16ヵ月間 |
| ⑤IT不況 | 00年09月 | (90,127) | 02年01月 | (45,616) | 50.6% | 14ヵ月間 | 55ヵ月間 |
| ⑥リーマンショック | 07年09月 | (142,003) | 09年01月 | (19,037) | 13.4% | 16ヵ月間 | 29ヵ月間 |
| ⑦欧州金融危機 | 11年06月 | (128,581) | 13年04月 | (81,963) | 63.7% | 22ヵ月間 | 23ヵ月間 |
| ⑧中国減速 | 15年03月 | (147,380) | 16年10月 | (93,884) | 63.7% | 20ヵ月間 | 17ヵ月間 |
| ⑨米中貿易摩擦 | 18年03月 | (182,860) | 20年05月 | (51,239) | 28.0% | 26ヵ月間 | 22ヵ月間 |
| ⑩ウクライナ侵攻 | 22年03月 | (166,263) | | | | | |

## 工作機械受注高と前年同月比の推移（2000年1月～25年10月）




出所：日本工作機械工業会

## 工作機械、工作機器、機械工具、産業用ロボットの生産額の推移

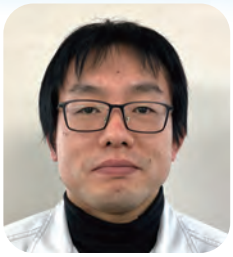



出所：経済産業省機械統計、日本工作機器工業会

# 分かりやすい 話題の技術

No. 207

## 重厚長大産業向けの省エネ対応門型加工機
## 門型5面マシニングセンタ HF-MⅡシリーズ



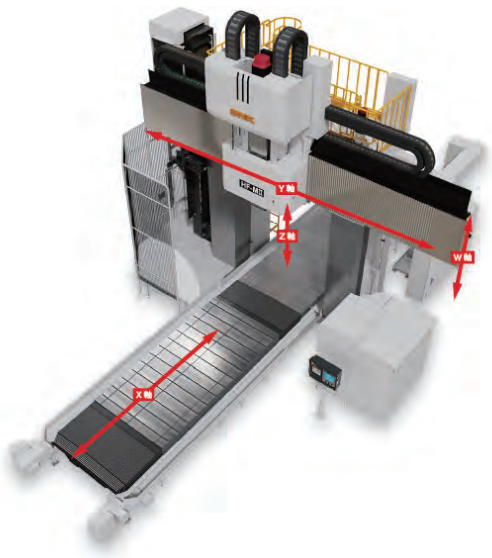
新日本工機株式会社
広報マーケティング課
課長
**溝　渕　崇　人**

### はじめに

新日本工機㈱は門型加工機の国内パイオニアとして数多くのお客様に提供して参りました。昨今、ものづくりの大型化が進む傍ら、より高効率化、コスト削減、人材不足解消のための自動化というものづくりの課題を解決する製品が求められています。この課題解決に重厚長大産業向けのフラッグシップモデル機を約40年ぶりの大幅リニューアルを敢行した「HF-M Ⅱ シリーズ」をご紹介します。

### 1. 門型加工機（門型マシニングセンタ）とは

2本のコラムに主軸頭を案内するクロスレールを付加し、「門」の字を構成するマシニングセンタ。航空機や造船、重電・エネルギー産業等の大型ワークの加工を対象とし、主軸頭にアタッチメントを取り付けることで多彩な加工が可能です。テーブル接地面を除く最大5面を加工できることから「5面加工機」とも呼ばれています。



## 2. HF-M Ⅱシリーズの特長

本シリーズは、前シリーズが持つ圧倒的な「重切削能力」、多種多様なワークに多彩なアタッチメントで対応する「柔軟性」にさらにレベルアップを図り、今般最大の特長である大幅なエコロジー化を達成し、グリーンな大型加工機となっています。

**静圧油、作動油のトータル約 70%に及ぶ大幅な油量削減**

- 従来の重量物積載の実績をもとに機械構造部の最適化を図り、従来のハイドロスタティックから大型コロベアリングのリニアガイドによるＸ・Ｙ軸摺動を採用し、機械全体の使用静圧油量を 60%の削減。
- Ｚ・Ｗ軸の駆動機構をツインボールスクリューに変更することで高負荷を支えることが可能となり、作動油の使用量も 80%削減。
- 必要油量の削減によってポンプなどの各周辺装置も大幅に小型化で、消費電力も削減効果を生み、一般的な機械使用状況下においてトータル約 18%の電力消費量の削減効果。

| 静圧油・高圧油の大幅削減 | HF-M | HF-MII |
|---|---|---|
| 静圧タンク | 500 L | 200 L |
| 高圧タンク | 350 L | 60 L |
| 合計 | 850 L | 260 L |

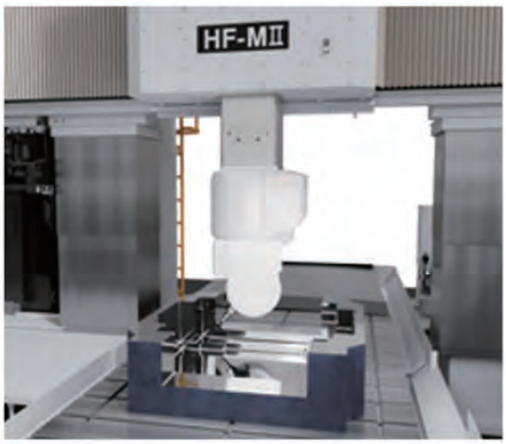
最大70%削減

※仕様により実際の数値と異なる場合があります。

### 500 種類を数える圧巻のアタッチメントバリエーション

- 長短様々なアンギュラ、エクステンションから特殊形状まで、お客様のニーズに応えて作られたトータル 500 種類以上をラインアップ。
- アタッチメントクランプ力を従来機に 2 倍にアップさせ、あらゆるアタッチメントでも十分な保持剛性を有し、安定した加工を実現。
- 高トルク仕様のコンパクトな連続 5 軸アタッチメントを新規開発。（最高回転数 4,000min$^{-1}$、最大トルク 600N·m、最大出力 30kW）。

| 主軸 | 5軸アタッチメント |
|---|---|
| 許容回転数（min$^{-1}$） | 4,000 |
| 許容出力（kW） | 30 |
| 許容トルク（N·m） | 600 |



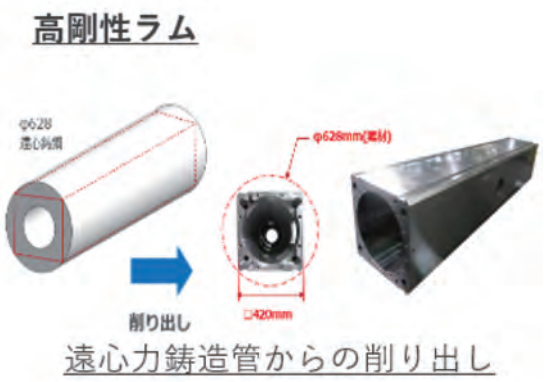

### 「機械を止めない」ためのデジタルシステムとの融合

- 「機械を計画通りに動かし続ける」ためには、常に正確に機械の状態を把握する必要があり、リスクを先読みする予防保全や予兆管理機能を搭載。
- 現場の困りごとや課題を解決するための支援アプリケーションもデュアルディスプレイ操作盤で視認可能。

主軸と各軸負荷のグラフ付き監視モニタ

**門型構造体の基本性能向上で加工パフォーマンスを改善**

- 自社製遠心力鋳造管から削り出す□ 420mm 角ラムにより、重切削はもちろん多彩なアタッチメント取付等にも高次元の剛性を確保。
- ラム摺動面積を 2 倍まで引き上げることで、Z 軸の直進度精度の向上にも効果を発揮し、従来機比較で約 10%以上の改善。
- 全軸ボールスクリュー駆動方式で、早送り速度は従来機より 20～70%向上し、非切削時間の大幅な短縮が可能。




## おわりに

新日本工機の製品の数々はお客様起点であります。お客様からのニーズやものづくりの課題を踏まえ、次代のものづくりに貢献する製品開発、お客様への価値提案を進めて参ります。

# 私の好きなお店

株式会社旭商工社
技術サポートグループ
グループ長
**折　田　将　彦**

この度、日工販NEWS【私の好きなお店】コーナーへ寄稿を拝命担当することになりました、株式会社旭商工社の折田と申します。よろしくお願いします。

今回、私がご紹介させていただくのは、横浜駅からわずか1分の居酒屋【ひさご】さんでございます。

なぜこのお店を選んだかというと、皆様、冬になったら・・・おでんって・・・食べたくなりませんか？

【ひさご】名物は、おでんなのです！！

またなんと、こちらのお店は、創業が1962年（昭和37年）7月に開業し、2026年の7月には創業64年を迎える老舗居酒屋さんなのです。

おでんの種類も豊富で、常時17種類もあり、味は関西風のお出しでおいしさ間違いなし！！

また、早い時間から飲み始める方であれば･･･18時までお一人様1回注文可能な、ほろ酔いセット（お好きなお飲み物とおまかせおでん3点盛、またはもつ煮と小鉢）が500円という格安でほろ酔いできるので、おススメです。※個人的にはもつ煮が大好物です！！

参考までにこちらのお店、ご予約ができないので、まずはお店に行ってみて、運が良ければ、待たずにお店に入れます！ 是非、横浜駅に立ち寄られる機会がございましたら、一度は立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

**居酒屋【ひさご】**

**住　　所**　神奈川県 横浜市 西区南幸1-5-29
**電話番号**　050-5385-4097
**営業時間**　【月~金】15:00 ~ 22:45　【土日祝】12:00 ~ 22:45
（F.L. 22:00、D.L. 22:10）

分かりやすい 話題の技術

No. 208

# 加工工程3DPDFで変わる加工確認
## ― Speedy mill Nextの取り組み ―

キャムタス株式会社
システム技術
**相　馬　功　侑**

### ・はじめに

製造現場において、加工内容を正確に伝えることは品質や生産性を維持するうえで欠かせない要素です。特に CAD/CAM で作成された NC プログラムだけでは実際の動きをイメージしにくく、内容の確認には経験や時間を要します。加工前に工程や動きが把握できているかどうかは、段取りの効率化やトラブル防止に大きく関わるため、加工内容を事前に関係者間で共有できる環境づくりは、現場全体の生産性向上に直結する重要なテーマです。

### ・加工内容を「伝える」難しさ

近年は、加工工程の複雑化に伴い NC プログラム自体も複雑になる傾向にあります。また、CAD/CAM オペレーターとマシンオペレーターが役割を分担して作業するケースも多く、作成された NC プログラムの実際の動きが十分に共有されないまま現場に渡ることもあります。その結果、加工前の工程確認に余分な労力を要したり、現場でプログラムをあらためて読み解く必要が生じたりするなど、運用面での負担が課題となっています（図1）。こういった確認作業が属人化しやすい点も、現場運用における悩みの一つです。

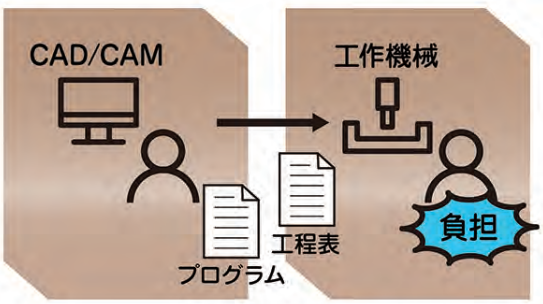



図1　情報伝達のイメージ

## ・Speedy mill Next が実現する加工工程 3DPDF

この課題に対する解決策として、Speedy mill Next の機能の一つである「加工工程3DPDF」があります（図2）。本機能は、NC プログラムを元にした加工パスのアニメーションや、使用工具の一覧表などを、PDF の3D 機能を活用して一つのファイルに出力するものです。作成された PDF は、Windows OS を搭載したパソコン（もしくはタブレット）に、アドビ社の Adobe Acrobat Reader がインストールされていれば、特別なシステムを用意することなく閲覧できます。

また、加工パスの動きを PDF 内で立体的に確認できるため、工具の動きや加工順序を直感的に把握しやすく、加工イメージを共有する手段として活用することができます。

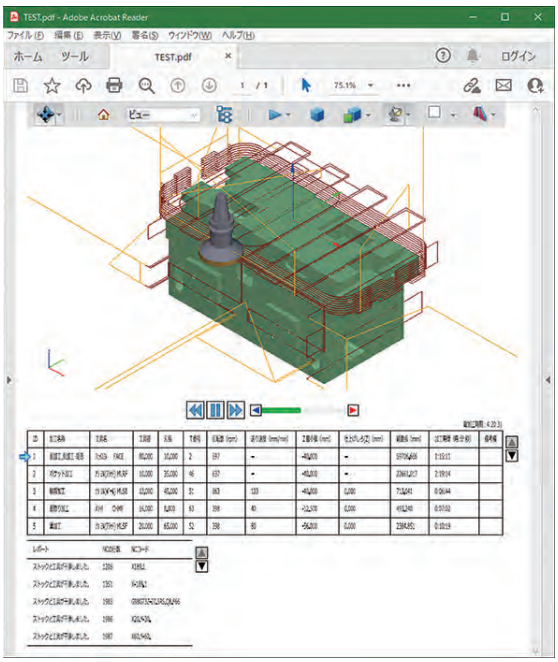



図 2　加工工程 3DPDF

## ・現場共有を支える新たな選択肢

加工工程3DPDF を活用することで、CAD/CAM オペレーターが作成した NC プログラムの内容を、マシンオペレーターは現場のパソコンやタブレットを用いて容易に確認することができるようになります。事前確認の効率化や認識のずれ防止につながり、結果として教育負担の軽減や作業の平準化にも役立ちます。経験の浅いオペレーターにとっても、加工の流れを視覚的に理解できる点は大きなメリットと言えます。

また、高価な専用シミュレーション環境を用意する必要がなくなるため、ランニングコストを抑えながら情報共有を行える点もメリットの一つです。PDF という身近な形式を活用した「加工工程3DPDF」は、オペレーター同士をつなぐ実用的な技術として、今後さらに活用の場が広がっていくと考えられます。

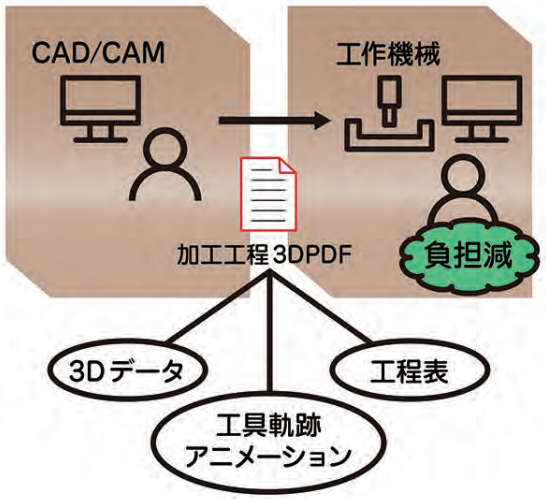



図 3　加工工程 3DPDF 導入後のイメージ

株式会社MSTコーポレーション
営業部
海外営業グループ中華チーム
リーダー
**朱　　立　峰**

株式会社 MST コーポレーション営業部　海外営業グループ中華チームの朱と申します。

日頃は、海外営業として主に中国の南部を担当しており、展示会への出展も含めますと年間かなりの日数を海外で過ごしています。そのような仕事スタイルだからでしょうか、コロナ前まで体重が100kgありました。そして、月に１回くらいの割合で体調を崩して病院で点滴を受けていました。そこで「このままではいけない」と一念発起し、体質改善に取り組んだ結果、１年で20kgの減量に成功しました。今回は、その実体験を皆さんにご紹介します。同じような悩みをお持ちの方のご参考になれば幸いです。

**① 食事を管理する**

メタボがすべての原因でしたが、私の場合、何を食べても太る体質でした。そこで、一日に摂取するカロリーを2,000kcal 以下に抑えるよう心がけました。朝食と昼食で約1,400kcal を目安に、食材パッケージの栄養表示を見ながら炭水化物・たんぱく質・ビタミンをバランス良く摂取しました。夕食はサラダのみ（ドレッシング控えめ）、お米は３か月ほど完全に控えました。この結果、１年後には体重が100→80kg以下に減量。確実な成果を実感できました。

**② しっかり睡眠を取る**

食事制限のストレスは想像以上に大きく、常に空腹との戦いです。そこで私が意識したのは「早く寝ること」。睡眠は意外と体力を使います。ぐっすり眠った後、翌朝の空腹時に体重を測り、数値の変化をモチベーションにしていました。

**③ 筋肉をつける**

体質を根本的に変えるには、やはり基礎代謝を上げることが重要です。そのため、週3～4回、1回1.5時間の運動を目標にしました。海外出張などで難しい時期は、週1～2回だけでも継続し、出張先のジムを活用することもありました。有酸素運動も大切ですが、筋肉を増やすと基礎代謝が上がり、普段の生活をしているだけでも自然とカロリーが消費されます。最近は YouTube でも自宅でできる筋トレ動画が豊富にありますので、手軽に始められます。

**④ 決意を貫く**

不規則な生活や飲酒が体に良くないことはわかっていましたが、営業職のため、お酒の席や出張の多い生活は仕方ありません。その上で「体質を変える」という決意を貫くことを第一にしました。そのため、私生活では、喫煙と飲酒を止め、海外出張から戻ると直ぐにジムへ直行（笑）。少しやりすぎかもしれませんが、それくらい強い意志を持つことが大切だと感じています。

**⑤ 無理をしないこと**

体質や生活環境は人それぞれです。私の方法が全ての方に合うとは限りません。大切なのは、自分の体と向き合い、状態を感じながら無理のない範囲で調整すること。「続けられる範囲で継続する」――それが一番の成功のコツだと思います。

**おわりに**

５年間の取り組みを通して、体調を崩すことがほとんどなくなり、仕事への集中力も高まりました。健康も仕事も努力の積み重ねですが、その結果は確実に自分に返ってきます。

皆さんも「少しずつできることから」、健康づくりを始めてみてはいかがでしょうか。

キタムラ機械株式会社
営業部 本社営業課
主任
**林　　隆　朗**

皆様、初めまして。キタムラ機械株式会社 営業部 本社営業課主任の林 隆朗と申します。

この度、株式会社兼松 KGK の山田様より、伝統ある「リレー随筆」のバトンを受け取りました。

せっかくの貴重な機会ですので、自己紹介と、私が現在の仕事に出会ったきっかけについてお話しさせていただきます。

私は石川県珠洲市の出身で、18歳まで自然豊かな奥能登で育ちました。子供の頃は「何もない場所だ」と思っていましたが、今振り返ると、山·海·川に囲まれた恵まれた環境だったと感じます。

石川県の県庁所在地 · 金沢市まで車で2時間以上、バスなら3時間以上かかる距離にあり、恥ずかしながら子供の頃はファーストフード店に入った経験が全くありませんでした。大学生になって出会ったばかりの友人と初めてマクドナルドに行った際には、注文の仕方が分からず、戸惑ったことをいまでも覚えています。

そんな環境で育ったため、民間企業よりも公務員が身近に感じられ、母が小学校教師だったこともあり、将来は国語か英語の教師になるつもりで大学は文学部に進学しました。

当然、今のような工作機械メーカーで働くとは夢にも思っていませんでした。

しかし、大学4年次に受けた教員採用試験は一次の筆記試験で不合格。周囲には講師として働く友人も多い中、私は「もう少し英語を体系的に学びたい」という思いから、富山市立外国語専門学校の専攻科へ進学しました。ここは英語教育の実務経験豊富なネイティブ講師陣による指導が受けられる、全国的にも珍しい市立の外国語専門学校です。

学生生活5年目ということで後ろめたさもあり、2回目の教員採用試験で不合格なら英語を活かせる仕事を探そうと校長先生に相談したところ、「1985年開校時の一期生がキタムラ機械で海外駐在しているから、採用試験を受けてみては」と紹介していただいたのが、キタムラ機械株式会社との出会いでした。紹介していただいた米国現地法人駐在の石浦浩二さんは、当社のメインマーケットである米国で今も営業の第一線で活躍されている尊敬する営業課長です。

内定後、教員の道も捨てきれず迷っていた時に石浦さんへ思い切ってメールで相談したところ、キタムラ機械での業務がどんな点が厳しく、どんな点にやりがいがあるかを正直に教えていただいて、非常にまじめな方だと思ったのと、敢えて厳しい業界に飛び込んでみようと決意し、キタムラ機械への入社を決めました。

今は入社11年目を迎え、主に国内営業を担当していますが、石浦さんの様に海外市場を任されることが将来の目標です。工作機械の世界に飛び込んだことは、私にとって人生の大きなターニングポイントでした。お客様のものづくりを支えるという責任とやりがいを感じながら、日々学び続けています。営業という仕事は、単に機械を販売するだけでなく、お客様の課題を理解し、最適な提案をすることが求められます。その難しさと面白さに、今ではすっかり魅了されています。

この業界に入ってから、ものづくりの奥深さや、日本の製造業の底力を肌で感じる機会が増えました。これからも、キタムラ機械の強みであるマシニングセンタ専業メーカーとしての専門性を武器に、お客様に信頼される営業を目指していきたいと思います。最後までお読みいただきありがとうございました。

▶次号はユアサ商事株式会社 西川勇士様です。頼りになる兄貴分のような営業マンです。

# 海外だより

## 「日本の産業発展への貢献に向けて」

Kitamura Machinery of USA, Inc.
（キタムラ機械株式会社）
課長
**石　浦　浩　二**

From U.S.A.

1989年8月、サービスエンジニアとしてシカゴに赴任。現在は営業課長として北米、中南米を飛び回る日々を送っております。弊社は1982年にシカゴ郊外のWheeling市に現地法人を設立。事業拡大に伴い、2022年6月にMount Prospect市に移転し、現在に至ります。

シカゴは、全米でニューヨーク、ロサンゼルスに次ぐ、第3の都市で、周辺都市を含むメトロエリアでは人口約941万人となります。五大湖の1つであるミシガン湖（世界で6番目に大きな湖で広さは、58,016km$^2$）の湖畔に位置し、この湖からよく風が吹くため、シカゴはWindy City（風の街）と呼ばれています。

スポーツも盛んで、プロ野球球団は2つあります。MLB球団の中で最古参の人気球団カブス（1870年創設）。鈴木誠也選手、今中昇太選手が所属しています。ホワイトソックスには村上宗隆選手が加入しました。

バスケットボールでは、伝説となったバスケの神様と呼ばれるマイケル・ジョーダン選手が所属していたブルズ、アメリカンフットボールの人気チームベアーズ（リーグ最古参　1920年設立）、アイスホッケーのブラックホークスなど、様々なプロスポーツチームが存在します。アメリカでは1年を通じて、プロスポーツを楽しむことができます。

シカゴカブス球場

スポーツだけでなく産業も盛んで、シカゴで創業又は本社を置く大手企業に、マクドナルド、チューインガムメーカーの Wrigley（リグリー）、ユナイテッド航空、ボーイング社、キャタピラー社などがあり、産業、文化、スポーツすべてが融合した素晴らしい都市だと思います。

シカゴ都市圏には在留邦人が約1.2万人がおり、日本のものは何不自由なく手に入れることができます。日本語の現地校・補習校があり、子供を育てるにも良い環境が整っています。

唯一の難点は冬の寒さです。ミシガン湖から吹き込む冷たい風の影響で、氷点下20℃以下になることがひと冬に何度かあります。私は赴任して初めて雪印社のロゴと同じ雪の結晶を見たときは、寒さを通り越して感動した覚えがあります。

2026年9月、世界3大工作機械展示会の IMTS2026年がダウンタウンのマコーミックプレースにおいて開催されます。日本のメーカーが多勢を占める展示会場に、弊社も機械を出品します。日本が誇る最先端技術、品質を示す絶好の機会であり、日本の産業発展に貢献できるよう尽力を尽くしてまいります。

シカゴダウンタウン

キタムラUSA社屋

# 感動したスポーツの名場面

## 奇跡のバックホーム――横田慎太郎選手が遺したもの

釜屋株式会社
機械部次長
**堀 野 雅 之**

先日、日曜日の昼下がりに自宅でくつろいでいた際、ふと目に留まったテレビ番組『奇跡のバックホーム』で、阪神タイガースの横田慎太郎選手に関する特集が放送されておりました。私は阪神ファンというわけではございませんが、その番組に自然と引き込まれ、気がつけば最後まで目を離すことができませんでした。

横田選手は、将来を嘱望された外野手として活躍していた最中、脳腫瘍という重い病に襲われました。長期の闘病とリハビリを経て、再びグラウンドに戻ることを目指す姿は、野球への情熱と人間としての強さを感じさせるものでした。

懸命な努力の末、彼は実戦復帰を果たします。しかし、病の影響で視力に不調を抱え、思うようなプレーができない日々が続きました。視界がぼやけ、ボールの行方を追うことすら困難な状況の中、それでも横田選手は諦めることなく、最後まで野球に向き合い続けました。しかし、目の不調が回復することはなく、横田選手は断腸の思いで引退を決意されました。

そして2019年9月26日、ウエスタン・リーグのソフトバンク戦で行われた引退試合。センターの守備に就いた横田選手は、試合終盤に奇跡のようなプレーを見せました。その日は、不思議と目がよく見え、飛んできた打球をしっかりと捉えることができたといいます。そして横田選手は、まるで運命に導かれるかのように、外野から本塁へノーバウンドの送球を放ちました―― その一投は、まさに「奇跡のバックホーム」と呼ぶにふさわしいものでした。捕手のミットに一直線で収まったその送球により、走者はアウトとなり、球場は大きな歓声と涙に包まれました。最後の一投にすべてを込めたその姿は、球場にいた誰もが心を揺さぶられるほどの感動を呼びました。

横田選手は2023年、28歳という若さで惜しまれながらこの世を去られました。しかし、その存在は今もファンの心に生き続けています。同年、阪神タイガースが18年ぶりのリーグ優勝を果たした優勝決定戦では、彼の登場曲『栄光の架橋』が球場に流れ、スタンドでは涙を流しながらの大合唱が巻き起こりました。優勝の瞬間には、横田選手の背番号が入ったユニフォームが胴上げされるという演出もなされ、彼が今もチームの一員であることを強く感じさせる場面となりました。

そして現在、その「奇跡のバックホーム」が映画『栄光のバックホーム』として公開されることが決定しております。私はこの映画を、観ずにはいられない―― そう強く感じております。阪神ファンではない私ですらそう思わせるほど、横田慎太郎選手の物語は、今も人々の心を動かし続けています。

# 自社紹介 我が社の履歴書

| フリガナ | オオイシキカイカブシキガイシャ | |
|---|---|---|
| 社　名 | 大石機械株式会社 | |
| 本社所在地 | 創立 | 代表者 |
| 〒 420-0033<br>静岡市葵区昭和町 10 番地 | 1952 年 1 月 | 代表取締役社長<br>大石　直良 |

大石機械株式会社の代表者をしております大石直良でございます。本コーナーにて弊社の紹介をさせていただきます。

大石機械の概要といたしましては、工作機械・鍛圧板金機械・工具・機械の周辺機器・機械を動かすためのソフトウエア及びハードウエアを主に静岡県内にて販売する商社であります。その他には、各種工業製品の輸入と輸出を手掛けており、主にヨーロッパとアメリカから製品を輸入し、それらを日本国内とアジア各国に販売しております。海外では、中国・タイ・インド・インドネシアに現地法人があり、営業活動をしております。

最近の弊社の大きなイベントとしては、2023年2月に本社を新社屋に移転したことが挙げられます。旧本社ビルは、築50数年が経過し老朽化が目立ち、耐震性も現在ほどの基準を満たさず、そして手狭にもなっておりました。新社屋は、広く・明るく・安全に働きやすく、そして仕事の効率が上がるように建てました。早いもので3年ほど経ちますが、多少なりとも仕事の効率が上がっているものと思われます。

機械工具の商社としてユニークな点をあえて挙げますと、ソフトウエアの販売サポートを行っている「Digital Solution Center」があります。この部署は、以前「CAD/CAM CENTER」と呼ばれておりましたが、昨今ソフトウエア販売における CAD/CAM の売上シェアとそれ以外のソフトウエア（シミュレーションソフトや 生産管理ソフト等）が約半分ずつになりましたので、新社屋への移転と同時にこの部署の名称を現行の「Digital Solution Center」に改称致しました。ハードウエアを効果的に効率よく稼働させるためには最適なソフトウエアが必要であり、弊社といたしましてもソフトウエアの販売には今後とも注力していく所存であります。この部署が主催するイベントとして、毎年6月にソフトウエア主体の実演・展示会「ハイテク ソリューション」を開催しております。

海外製品の販売部署として貿易部があり、主に欧米製のプレス金型のパーツや周辺機器を日本全国とアジア地域に販売しております。この部署は 1972年に設置されましたので、かなり早い時期から貿易業務を行っていることになります。海外には国内には無いユニークな製品もありますので、これからもユニークな製品を発掘し（大変難しく時間がかかりますが）日本そしてアジアの国々に紹介していきたいと思います。

大石機械株式会社
代表取締役社長
**大　石　直　良**

# SE教育

## 日工販SE合格者 第255回発表

2026 年 2 月の合格者は 1 名です。

| 認定No. | 会社名 | 合格者名 |
|---|---|---|
| 26-34-4240 | ㈱ダイイチテクノス | 寺尾　快音 |

お知らせ

## 日工販 NEWS 表紙写真の公募について

日工販事務局からのお知らせです。

日工販 NEWS を楽しく、また手に取っていただきやすい機関誌にしたいという思いから、表紙にその季節折々の写真を掲載することとしています。

そこで、以下要領により読者の皆様から表紙写真を公募しますので奮ってご応募ください。

### 募集要領

**1. 対象写真**

年 5 回の発刊月（5 月、7 月、11 月、1 月、2 月）に合わせた写真（1 枚以上）

※複数枚ご送付いただいた場合は、選定は事務局にて実施します。

※被写体は「風景」にこだわりません。季節を感じさせるものであれば何でも可。

**2. 送付手段**

以下要領により、電子データにてご送付をお願いします。

①日工販事務局宛てメールに添付：　jmtda@nikkohan.or.jp

メール件名：　「《日工販 NEWS》表紙写真（応募）」

②大容量ファイル配信ツール（「FireStorage」など）等の利用で送付

③USB や CD 等による送付（媒体返却を希望する場合は「返却要」のメモを同封してください）

※上記いずれの場合も、以下事項を必ず添えてください。

- 「撮影された方の会社名・所属部署・役職・氏名」
- 「掲載希望発刊月」
- 「撮影した場所や対象（風景の場合）、あるいは写真のタイトル」

**3. 採否の連絡**

採用された写真をご送付いただいた方には、当該写真が掲載された「日工販 NEWS」および御礼として QUO カードを送付させていただきます。

採用の連絡は発送を以って代えさせていただきますが、後々の掲載に備えてご送付いただいた写真は事務局でストックしていくため、適用月に掲載されない場合でも不採用の連絡はいたしませんので予めご了承ください。

# 工作機械・FA流通動態調査1

## 統計1

単位) 百万円

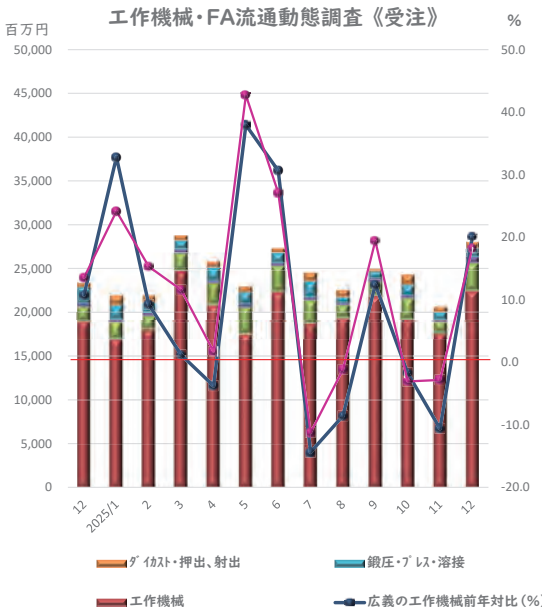
| 35社合計 | | 受注 | | | | | 売上 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 調査月次 | | 2025/12 | 前月比 | 前年比 | 2025/01～2025/12 | 前年比 | 2025/12 | 前月比 | 前年比 | 2025/01～2025/12 | 前年比 |
| 広義の工作機械 | 工作機械 | 22,460 | 27.6% | 18.2% | 239,727 | 10.1% | 23,816 | 36.8% | -13.4% | 242,458 | -1.5% |
| | ﾛﾎﾞｯﾄ・自動化機器 | 3,181 | 148.6% | 88.8% | 26,608 | -6.9% | 2,426 | 2.9% | -18.5% | 30,283 | -3.2% |
| | CAD/CAP・自動ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ | 709 | 168.2% | 100.7% | 4,142 | -6.1% | 620 | 81.0% | 18.8% | 4,338 | 10.0% |
| | 鍛圧・ﾌﾟﾚｽ・溶接 | 1,011 | 18.5% | -44.2% | 14,209 | -22.0% | 1,481 | 26.7% | -57.1% | 16,618 | -21.1% |
| | ﾀﾞｲｶｽﾄ・押出、射出 | 666 | -0.3% | 33.0% | 8,801 | 29.2% | 903 | 28.2% | -8.8% | 9,087 | 29.2% |
| | 小計 | 28,027 | 35.6% | 20.1% | 293,487 | 6.4% | 29,246 | 33.0% | -17.5% | 302,785 | -2.1% |
| 工作機械以外の扱い商品 | | 30,680 | 15.1% | 8.8% | 355,784 | -4.2% | 32,205 | 15.2% | -13.3% | 364,884 | -1.8% |
| 合計 | | 58,708 | 24.0% | 13.9% | 649,271 | 0.3% | 61,451 | 23.0% | -15.4% | 667,669 | -1.9% |
| 従業員数 | | 1,663 | -0.5% | 2.0% | | | | | | | |

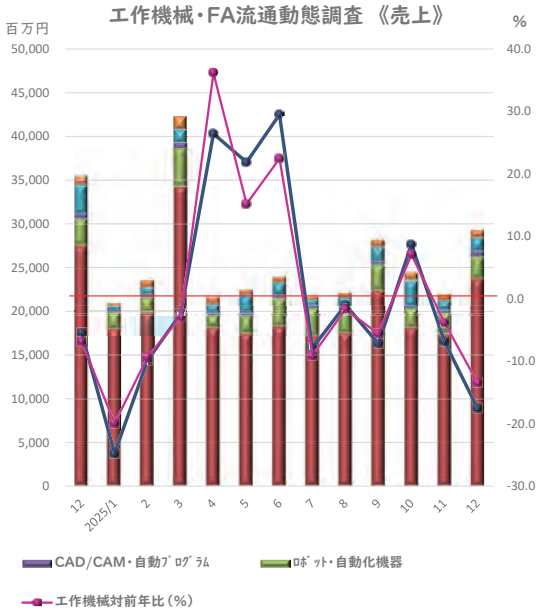
## 統計2

単位) 百万円

| 26社合計 | | 受注 | | | | | 売上 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 調査月次 | | 2025/12 | 前月比 | 前年比 | 2025/01～2025/12 | 前年比 | 2025/12 | 前月比 | 前年比 | 2025/01～2025/12 | 前年比 |
| 内訳 | 直販 | 24,372 | 9.1% | 5.7% | 291,083 | -0.1% | 26,756 | -9.8% | -11.8% | 307,622 | 4.0% |
| | （内リース） | 895 | -17.4% | 44.8% | 9,292 | 16.1% | 1,690 | 404.5% | 86.8% | 8,967 | -1.2% |
| | 卸 | 7,691 | 26.1% | 9.9% | 81,016 | 2.1% | 9,675 | 29.8% | -20.2% | 98,409 | 9.3% |
| | 輸入 | 4,120 | 26.8% | 77.3% | 47,956 | -68.2% | 3,370 | 15.1% | 8.3% | 35,166 | 7.6% |
| | 輸出 | 13,490 | 69.0% | 31.7% | 133,150 | -0.8% | 11,803 | 15.0% | -41.5% | 130,749 | -9.9% |
| | （内間接輸出） | 1,117 | 61.6% | -39.6% | 12,077 | -35.3% | 1,433 | 36.2% | -25.4% | 15,273 | -20.1% |
| 従業員数 | | 1,182 | -0.7% | 1.9% | | | | | | | |

注：会員81社中、統計1に関しては35社、統計2に関しては26社の回答を得て集計したものである。
折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比であり、データ提供会社総数は38社である。

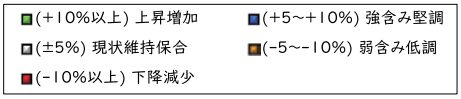


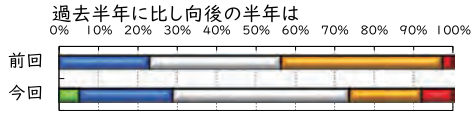
# 工作機械・FA流通動態調査2

## 今回2026年1月調査／前回2025年10月調査対比

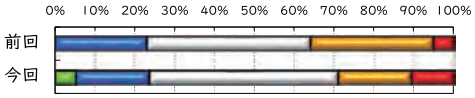
### 1．工作機械全体見通し



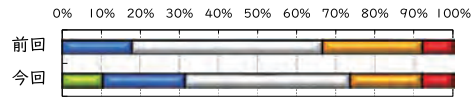

過去半年に比し向後の半年は



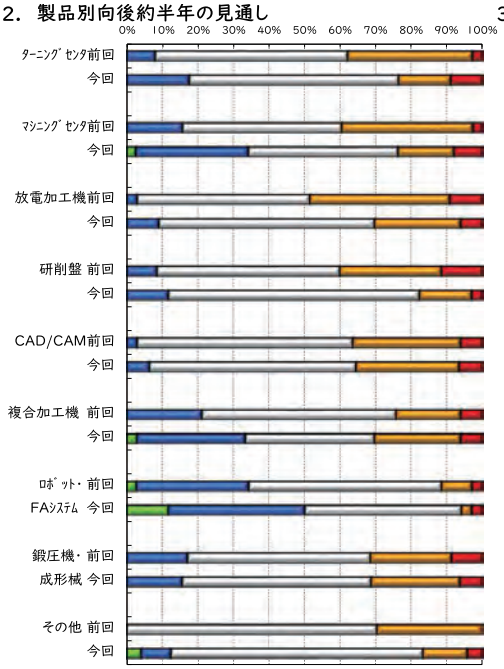

現状に比し直近(1~3ヵ月)は



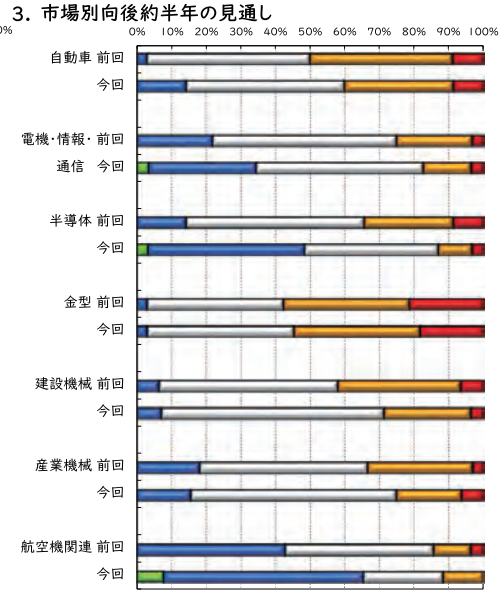

過去1年に比し向後の1年は




### 2．製品別向後約半年の見通し

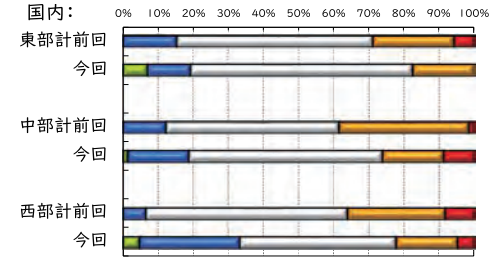



### 3．市場別向後約半年の見通し

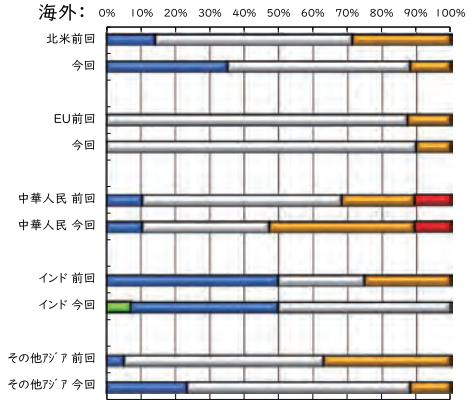



### 4．地域別向後約半年の見通し

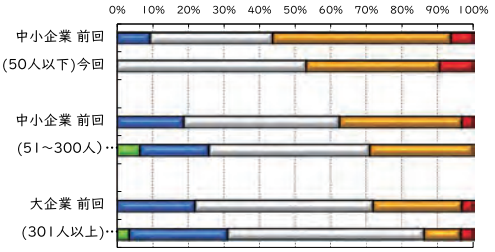
国内：




海外：

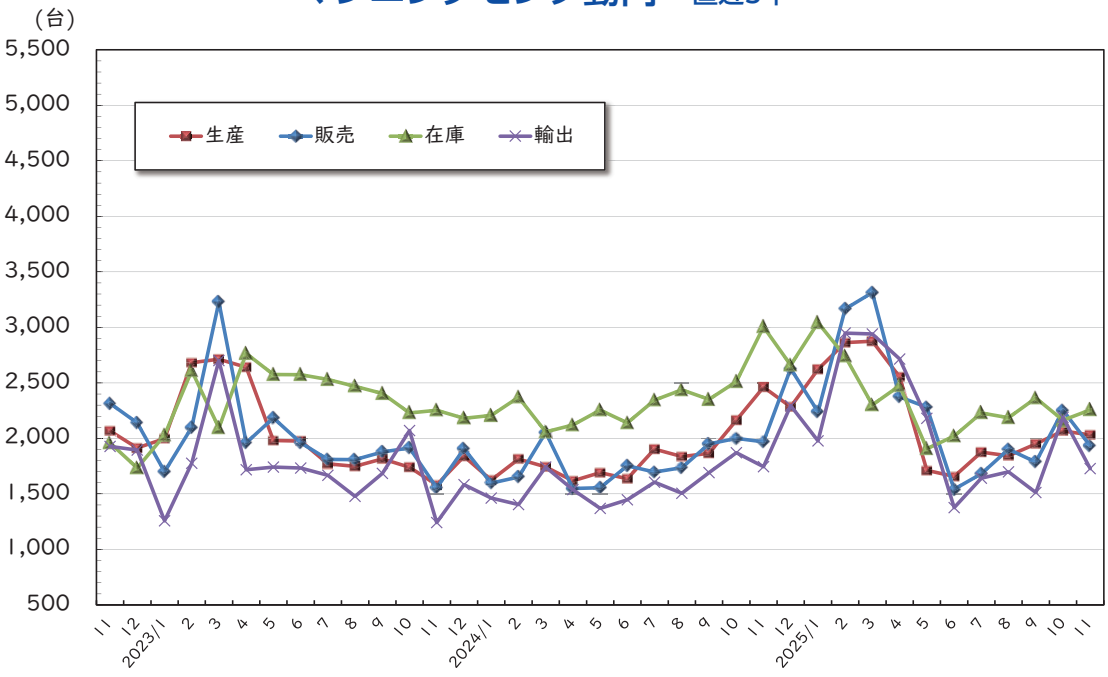



### 5．ユーザー規模別向後約半年の見通し

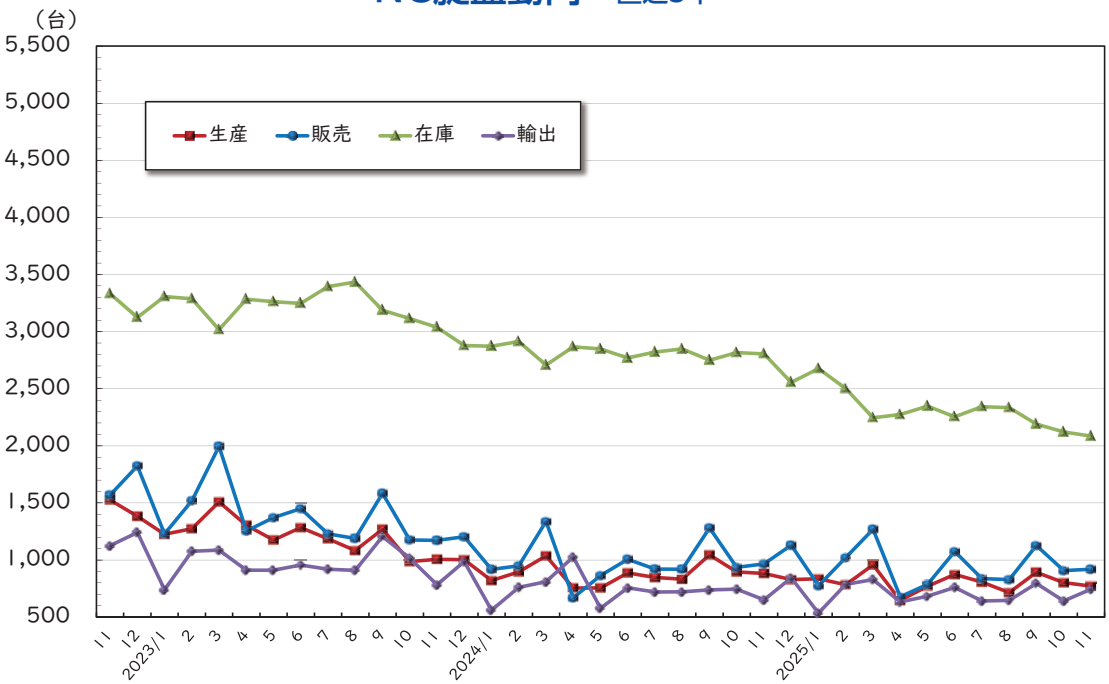


## 見てわかる　3年間の代表2機種のトレンド

### マシニングセンタ動向 ~直近3年~




### NC旋盤動向 ~直近3年~




出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

# 工作機械業種別受注額(2025年12月)

2026/1/27発表

(単位:百万円・%)

| | | 24年累計 | 前年比 | 25/07-25/09 累計 | 25/10-25/12 累計 | 前期比 | 前年同期比 | 25/01-25/12 累計 | 前年同期比 | 12月分 | 前月比 | 前年同月比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 機械製造業 | 1.鉄鋼・非鉄金属 | 15,172 | 92.8 | 3,994 | 4,236 | 106.1 | 99.6 | 14,468 | 95.4 | 1,741 | 226.4 | 79.2 |
| | 2.金属製品 | 37,200 | 101.1 | 7,968 | 6,847 | 85.9 | 72.8 | 35,369 | 95.1 | 2,649 | 149.3 | 86.8 |
| | 3.一般機械 | 181,041 | 88.9 | 42,999 | 43,320 | 100.7 | 96.9 | 175,881 | 97.1 | 15,837 | 121.8 | 105.1 |
| | (うち金型) | 15,761 | 55.9 | 4,165 | 4,833 | 116.0 | 159.1 | 16,043 | 101.8 | 1,742 | 106.7 | 208.4 |
| | 4.自動車 | 91,025 | 90.5 | 21,208 | 24,001 | 113.2 | 114.1 | 87,073 | 95.7 | 9,055 | 134.7 | 104.7 |
| | (うち自動車部品) | 62,400 | 84.9 | 15,160 | 14,523 | 95.8 | 109.6 | 56,876 | 91.1 | 5,930 | 139.5 | 112.8 |
| | 5.電気機械 | 31,506 | 86.9 | 7,762 | 6,989 | 90.0 | 99.7 | 31,900 | 101.3 | 1,745 | 69.4 | 64.2 |
| | 6.精密機械 | 23,227 | 108.4 | 4,967 | 4,388 | 88.3 | 71.9 | 20,626 | 88.8 | 2,179 | 222.8 | 102.2 |
| | 電気・精密計 | 54,733 | 94.9 | 12,729 | 11,377 | 89.4 | 86.8 | 52,526 | 96.0 | 3,924 | 112.4 | 80.9 |
| | 7.航空機・造船・運送用機械 | 24,218 | 120.1 | 11,307 | 8,095 | 71.6 | 125.8 | 35,318 | 145.8 | 2,989 | 92.1 | 103.0 |
| | (うち航空機) | 13,183 | 154.9 | 6,365 | 3,412 | 53.6 | 83.1 | 17,759 | 134.7 | 1,161 | 87.4 | 63.5 |
| | 小計 | 351,017 | 91.9 | 88,243 | 86,793 | 98.4 | 101.8 | 350,798 | 99.9 | 31,805 | 120.2 | 101.1 |
| | 8.その他製造業 | 18,793 | 82.2 | 5,106 | 4,827 | 94.5 | 102.0 | 21,000 | 111.7 | 2,255 | 179.4 | 124.4 |
| | 9.官公需・学校 | 2,532 | 128.1 | 1,152 | 1,485 | 128.9 | 355.3 | 3,515 | 138.8 | 245 | 39.0 | 189.9 |
| | 10.その他需要部門 | 11,917 | 98.0 | 3,455 | 2,352 | 68.1 | 85.9 | 11,513 | 96.6 | 769 | 109.9 | 85.1 |
| | 11.商社・代理店 | 4,907 | 105.9 | 1,068 | 1,045 | 97.8 | 124.4 | 4,199 | 85.6 | 441 | 109.7 | 124.2 |
| | 内需合計 | 441,538 | 92.6 | 110,986 | 107,585 | 96.9 | 99.9 | 440,862 | 99.8 | 39,905 | 124.8 | 100.0 |
| | 12.外需 | 1,043,571 | 103.4 | 276,689 | 331,519 | 119.8 | 119.6 | 1,163,457 | 111.5 | 118,738 | 113.1 | 115.1 |
| | 受注累計 | 1,485,109 | 99.9 | 387,675 | 439,104 | 113.3 | 114.1 | 1,604,319 | 108.0 | 158,643 | 115.8 | 110.9 |
| | (内NC機) | 1,461,592 | 99.9 | 382,331 | 431,999 | 113.0 | 114.1 | 1,579,239 | 108.0 | 155,615 | 115.2 | 110.5 |
| | 販売額 | 1,526,187 | 94.4 | 371,577 | 433,784 | 116.7 | 106.3 | 1,633,205 | 107.0 | 180,106 | 134.7 | 107.0 |
| | (内NC機) | 1,503,335 | 94.5 | 365,539 | 425,226 | 116.3 | 105.5 | 1,607,246 | 106.9 | 175,030 | 132.6 | 105.1 |
| | 受注残高 | 767,825 | 97.7 | 732,958 | 757,430 | 103.3 | 98.6 | 757,430 | 98.6 | 757,430 | 99.7 | 98.6 |
| | (内NC機) | 746,270 | 98.1 | 710,829 | 736,066 | 103.6 | 98.6 | 736,066 | 98.6 | 736,066 | 99.9 | 98.6 |

出所 (一社)日本工作機械工業会

# 2025年小型工作機械･受注高統計表

（1月～12月分）

| 分類 | 受注実績 | 台数（台） | 金額（千円） | 輸出台数（台） | 輸出金額（千円） | 比率（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 非NC小型工作機械 | 小型旋盤 | 23 | 54,799 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 小型自動旋盤 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 小型フライス盤 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 小型研削盤 | 301 | 3,077,115 | 23 | 421,851 | 13.7 |
| | その他の小型工作機械 | 570 | 5,820,969 | 17 | 3,147,616 | 54.1 |
| | **小計** | **894** | **8,952,883** | **40** | **3,569,467** | **39.9** |
| NC小型工作機械 | NC小型旋盤 | 12,114 | 105,388,013 | 7,149 | 62,645,617 | 59.4 |
| | NC小型フライス盤 | 481 | 4,204,850 | 452 | 3,953,150 | 94.0 |
| | NC小型研削盤 | 263 | 9,169,686 | 122 | 4,573,854 | 49.9 |
| | 小型マシニングセンタ | 260 | 5,337,648 | 9 | 133,420 | 2.5 |
| | その他のNC小型工作機械 | 2,030 | 25,635,892 | 1,780 | 16,698,765 | 65.1 |
| | **小計** | **15,148** | **149,736,089** | **9,512** | **88,004,806** | **58.8** |
| 付属品・ユニット・部品 | | | 10,239,543 | | 1,914,027 | 18.7 |
| **合計** | | **16,042** | **168,928,515** | **9,552** | **93,488,300** | **55.3** |
| （1か月平均） | | 1,337 | 14,077,376 | 796 | 7,790,692 | 55.3 |

出所：日本精密機械工業会

## 編集後記

新年の賀詞交歓会では「ウマ駆け上る年」という言葉を多く耳にした1月が早くも過ぎようとしており、時が経つのが早いと実感しています。先日、映画「国宝」を観る機会に恵まれました。日本の文化である歌舞伎の魅力が存分に描かれ、また人々の思いや葛藤の描写と相まった作品を拝見し、大ヒットしている理由がわかった気がしています。アニメや他コンテンツなど日本文化が海外に発信され大いに評価されています。また2月にはミラノ・コルティナ オリンピック・パラリンピックが開催され、日本選手の活躍も期待されます。今年は産業界も様々な動きが期待されており、世界に向けた情報発信がこれまで以上に活発となり日本企業の更なる発展へとつながっていくことを祈念しています。まだまだ寒さが続きます。皆様どうぞご自愛ください。〔川島〕

新年を迎える頃、毎年の事ながら「今年こそは」と胸の内で静かに決意を固める瞬間があります。2026年の幕開けも例外ではなく、私生活では「運動不足解消」を目標としましたが編集後記を書いている現在でも行動を起こしていない怠け者が此処にいます。

一方、本業である工作機械業界は相変わらずの流れの速さで26年展望として「前半は変化なし、後半は緩やかに回復基調で推移」するとの予測が大半であり、特に17の戦略分野にある造船、航空・宇宙、防衛関連や第7次エネルギー基本計画による事業投資を如何に拾い上げ受注に結び付けるかが焦点になっているように思えます。受注に結び付ける付加価値の最適解は案件毎に異なりますが「対応力」を前面に押し出し拡販に努めていきたいと思います。

最後に2026年が販売協会の皆さまにとって良き一年となることを願っております。〔金子〕

お問い合わせ・ご意見をお寄せください。　■ E-mail：jmtda@nikkohan.or.jp


日工販NEWS　February 2026

2026年2月発行

発　　行　日本工作機械販売協会
〒108-0014　東京都港区芝5-26-30　専売ビル3階
電話　03-3454-7951　　FAX　03-3452-7879

発行責任者　専務理事　中島　和彦

編　　集　日工販調査広報委員会
委員長　川島　孝樹（丸紅テクノシステム㈱）
委　員　君村　義人（伊藤忠マシンテクノス㈱）
中村　龍二（㈱トミタ）
金子　智彦（三菱商事テクノス㈱）
遠藤　綾介（㈱牧野フライス製作所）
堀江　　浄（三井住友ファイナンス＆リース㈱）

制作・印刷　㈱昌文社
〒108-0014　東京都港区芝5-26-30
電話　03-3452-4931　　https://www.sho-shiba.com

# 日本工作機械販売協会　会員会社一覧　（五十音順）

2026年2月現在

## 正会員（全81社）

### 東部地区（37社）

㈱旭商工社
アルビテクノロジー㈱
伊藤忠マシンテクノス㈱
イワイ機械㈱
㈱ウインテック
大石機械㈱
㈱オーマット
㈱カナデン
㈱カネコ・コーポレーション
㈱兼松KGK
㈱京二
㈱共和工機
群馬工機㈱
㈱国興
㈱小林機械
佐藤商事㈱
㈱三機商会
三洋マシン㈱
サンワ産業㈱
シマモト技研㈱
㈱セイロジャパン
誠和エンジニアリング㈱
双日マシナリー㈱
ツールドインターナショナル㈱
帝通エンヂニヤリング㈱
㈱テヅカ
㈱トミタ
㈱豊通マシナリー
㈱NaITO
日鋼YPK商事㈱
㈱日清機工
丸紅テクノシステム㈱
三井物産マシンテック㈱
三菱商事テクノス㈱
㈱ヤマモリ
ユアサ商事㈱
米沢工機㈱

### 中部地区（23社）

石原商事㈱
㈱井高
岡谷機販㈱
カトー機械㈱
釜屋㈱
岐阜機械商事㈱
甲信商事㈱
三栄商事㈱
㈱三機
サンコー商事㈱
三立興産㈱
下野機械㈱
㈱大成
㈱大誠
㈱大和商会
㈱東陽
㈱日本精機商会
浜松貿易㈱
㈱不二
三菱電機メカトロニクステクノロジーズ㈱
山下機械㈱
㈱U-MACHINE
ワシノ商事㈱

### 西部地区（21社）

赤澤機械㈱
伊吹産業㈱
植田機械㈱
OTファテック㈱
関西機械㈱
京華産業㈱
合田商事㈱
五誠機械産業㈱
桜井機械㈱
㈱ダイイチテクノス
大幸産業㈱
㈱立花エレテック
㈱タナカ善
西川産業㈱
日工機材㈱
㈱ニッツマシナリー
日本産商㈱
㈱マックマシンツール
宮脇機械プラント㈱
㈱山善
ユニソル㈱

## 賛助会員（全76社）

### 製造業（69社）

アイダエンジニアリング㈱
㈱アマダマシナリー
育良精機㈱
エヌティーツール㈱
㈱MSTコーポレーション
㈲LNSジャパン
エンシュウ㈱
オーエスジー㈱
㈱オーエム製作所
オークマ㈱
㈱岡本工作機械製作所
㈱神崎高級工機製作所
㈱北川鉄工所
キタムラ機械㈱
㈱北村製作所
㈱キャドマック
キャムタス㈱
黒田精工㈱
三愛エコシステム㈱
サンドビック㈱
三宝精機工業㈱
㈱C&Gシステムズ
㈱ジェイテクト
ジェイビーエムエンジニアリング㈱
㈱シギヤ精機製作所
シチズンマシナリー㈱
芝浦機械㈱
シンクス㈱
新日本工機㈱
㈱ソディック
大日金属工業㈱
㈱太陽工機
高松機械工業㈱
㈱TAKISAWA
㈱ツガミ
津田駒工業㈱
DMG森精機㈱
㈱東京精機工作所
㈱東京精密
東洋精機工業㈱
㈱ナガセインテグレックス
中村留精密工業㈱
㈱西田機械工作所
㈱日研工作所
㈱日進ProSOL
ニデックオーケーケー㈱
ニデックマシンツール㈱
ハイデンハイン㈱
㈱長谷川機械製作所
㈱初田製作所
浜井産業㈱
浜名エンジニアリング㈱
BIG DAISHOWA㈱
ファナック㈱
㈱FUJI
二村機器㈱
ブラザー工業㈱
豊和工業㈱
牧野フライス精機㈱
㈱牧野フライス製作所
㈱松浦機械製作所
三井精機工業㈱
㈱ミツトヨ
三菱電機㈱
三菱マテリアル㈱
㈱MOLDINO
安田工業㈱
ヤマザキマザック㈱
吉川鐵工㈱

### リース業（7社）

共友リース㈱
JA三井リース㈱
十六リース㈱
三井住友トラスト・パナソニックファイナンス㈱
三井住友ファイナンス&リース㈱
三菱HCキャピタル㈱
三菱電機フィナンシャルソリューションズ㈱

工作機械業界への知見を広げ、
日工販会員の絆を深める広報誌
日工販NEWS
February 2026

日本工作機械販売協会
JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION
〒108-0014 東京都港区芝5-26-30 専売ビル
TEL.03-3454-7951 FAX.03-3452-7879
https://www.nikkohan.or.jp